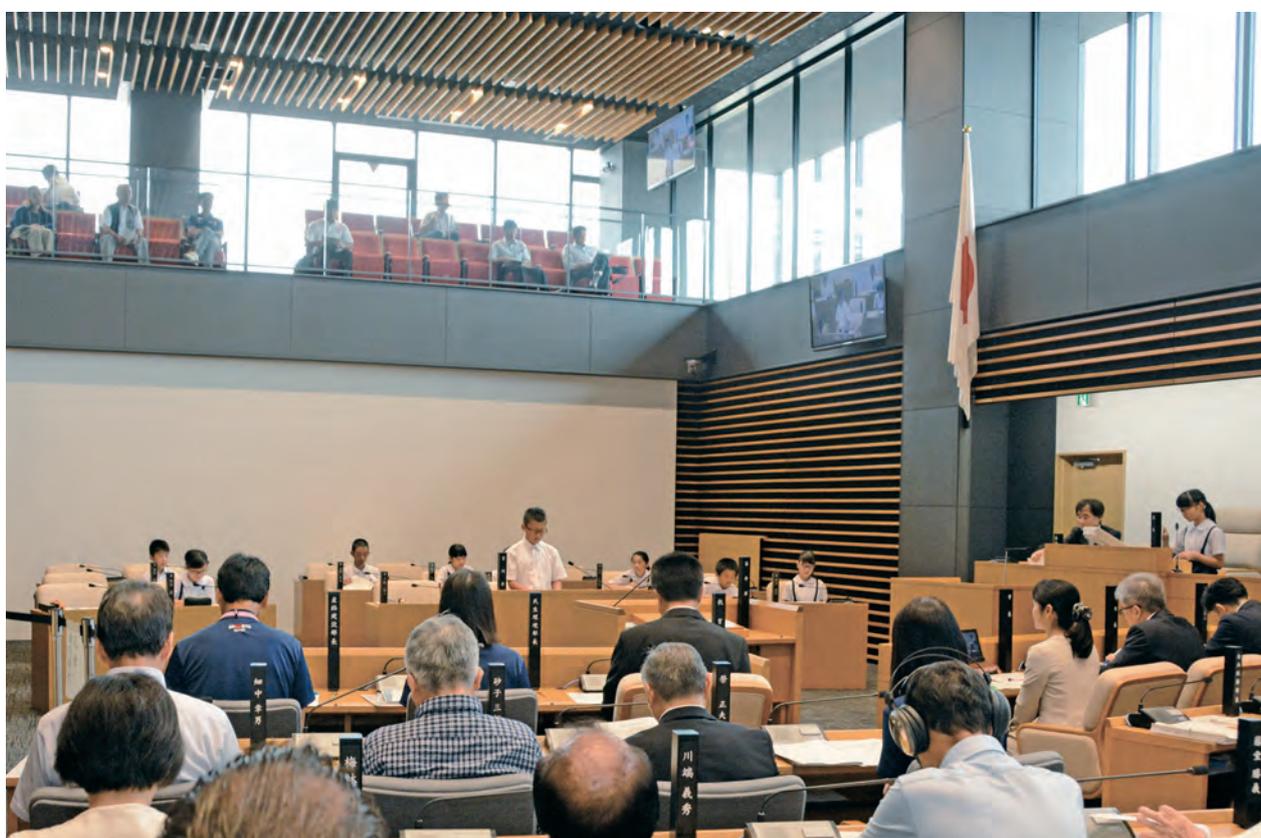


平成30年8月

第4回大野市子ども議会 会議録



開 会

平成30年8月20日（月）

閉 会



大野市議会議員
 野村 勝人
 大野市議会議員
 永田 正幸
 大野市議会議員
 川端 義秀
 大野市議会議員
 藤堂 勝義
 大野市議会議員
 高岡 和行
 大野市議会議員
 松原 啓治
 大野市議会議員
 宮澤 秀樹
 大野市議会議員
 梅林 厚子
 大野市議会議員
 松田 元栄

大野市議会議員
 島口 敏栄
 大野市議会議員
 畑中 章男
 大野市議会議員
 榮 正夫
 大野市議会副議長
 廣田 憲徳
 大野市議会議長
 山崎 利昭
 市長
 石山 志保
 副市長
 田中雄一郎
 教育長
 久保 俊岳
 大野市議会議員
 砂子 三郎
 大野市議会議員
 兼井 大

乾側小学校
 たかむら このみ
 高村 このみ
 富田小学校
 のぎし さくら
 野岸 さくら
 有終西小学校
 きたの ほうこう
 北野 奉孝
 和泉小学校
 むらまつ よしろう
 村松 吉郎
 下庄小学校
 おかもと なつみ
 岡本 夏実
 阪谷小学校
 たかだ ひでろみ
 高田 秀洋
 有終南小学校
 まきの はすな
 牧野 芙南
 小山小学校
 ちみ はると
 千味 遥人
 有終東小学校
 まつだ はな
 松田 花
 上庄小学校
 しろさき あい
 白崎 愛唯

平成30年8月第4回大野市子ども議会会議録 目次

第1号 [平成30年8月20日(月)]

議事日程 -----	1
出席議員の氏名 -----	1
説明のため出席した者の職・氏名 -----	1
出席したオブザーバーの職・氏名 -----	2
(議事)	
議席の指定 -----	5
会議録署名議員の指名 -----	5
会期の決定 -----	5
大野市長あいさつ -----	5

子ども議員質問 2番 (有終東小学校6年 松田 花君) ---- 6

1 学校再編について

小学校を二つ、中学校を一つにするという話が出ています。それについての意見はさまざまです。

そこで質問です。

○この再編について、大野市の考えを教えてください。メリットとデメリットは何ですか。また、デメリットはどのようにすれば克服できますか。

私が考えるメリットは、学校内で競争ができる、友達が増えるなどで、デメリットは、登下校が大変、連体や連音など他の学校と交流する機会がなくなることなどです。

2 親子で楽しめる屋内施設を造ろう

雨の日や大雪の日、気温が高く暑い日などに遊べる屋内施設があるといいと思います。また、小さい子から大きい子、大人まで、誰でも利用できる楽しい施設があると市外や県外からも人が集まり、大野市が活性化すると思います。

そこで質問です。

○大野市にこういう施設ができると、大野市に来る人が増えて大野市が良くなると思うのですが、これについてどう思いますか。

また、大野市に親子で体験できたりする観光スポット施設を造るといいと思います。大野市以外の所から来た人たちがもう一度来たい、ここで働きたいと思ってくれれば、大野にたくさん人が来て人口が増えるかもしれません。また、いいPRになると思います。

そこで質問です。

○大野市は「これ！」という観光スポットや施設を造り、大野市をPRすればより良くなると思うのですが、これについてどう思いますか。

1 福井しあわせ元気国体・元気大会について

今年は、福井しあわせ元気国体・しあわせ元気大会が開かれます。

私たちの住む大野市でも競技として相撲、カヌー、自転車の3種目、公開競技としてパワーリフティング、デモンストレーションスポーツとしてサイクリング、しあわせ元気大会ではバレーボールが行われます。私たちは幾つかの競技を観戦することができ、今から楽しみです。

そこで質問です。

○国体に向けて、市民としてどんな取り組みをしますか。私たちの学校では昨年、三重県の応援ののぼりを作ったり、今年の1学期には全校でメッセージカードを書いたりしました。

この他に小学生ができる取り組みはありますか。

○大野に多くの選手たちが来ます。大野に来てくれた選手たちに、大野の良さを紹介するPR動画などはありますか。あるのなら一度見てみたいです。

○また、国体後も大野に来てもらうために、福井の有名なおろしそばを食べてもらったり、大野の美味しい水を渡したりしてみてもどうでしょうか。

○最後に、市民の健康を増進するため公園を大きくしたり、気軽に運動できる場所を増やしてはどうでしょうか。いろいろな人が集まり、遊んだりして運動に親しむ人が増えていくと思います。

1 大野市の観光客を増やすことについて

大野には、イトヨや大野城（天空の城）など、素晴らしいものがたくさんあります。

ですが、私にはその大野の素晴らしいものが、市外の人にあまり知られていないと感じています。

そこで質問します。

○大野市では観光客を増やすために、イトヨや大野城のどんなPRをしていますか。私はもっと大野市のことを市外の人に知ってもらいたいです。そのために、とつてもかわいくてみんながはまるPRキャラを作ってはどうか。そして大野市のことを知っていいなと思い、住んでくれる人も出るのではないかなと思います。

このことについて、大野市の意見をお聞かせください。

2 大野市の人口を増やすことについて

大野市の人口はどんどん減ってきています。それは大野市の働く場所が少なくなってきたというのも、理由の一つにあると思います。

そこで提案します。

○名水のアピールにもなるビール工場を造ってはどうか。飲料水メーカーをつくることで工場見学や工場で働く人が来て、観光客や人口の増加につながると思います。

○また、大野市として人口を増やすために工夫していることはありますか。

2 回目以降の質問 ----- 12

子ども議員質問 5 番（阪谷小学校 6 年 高田秀洋君） ----- 13

1 大野市の財政について

文化会館が建て替えられると聞きました。

そこで質問です。

○新しい施設を造るときには、誰が発案したり、設計したりするのですか。

○お金はどのような財源から出されますか。

○文化会館を建てる場所は、駐車場のスペースを考えると、今ある場所ではなく、別の場所が良いと思います。

このことについては、どう思いますか。

2 大野市の町おこしについて

私たちは、授業で大野の水がきれいかどうかの調査をしました。とてもきれいだと分かりました。大野の豊かな自然を守っていきたくと思いました。

そこで質問です。

○大野市として水をきれいに保つための取り組みをしていますか。

またどのような活動ですか。

○大野の自然を守る活動があったら教えてください。

○どのようなまちおこしをしているのかにも興味を持ちました。市として行っているまちおこしはどのようなものがあるか、教えてください。

子ども議員質問 6 番（下庄小学校 6 年 岡本夏実君） ----- 15

1 災害時の避難勧告について

この前の西日本を中心とした豪雨では、各地で土砂災害や河川の氾濫が起き、広島、岡山、愛媛などで多くの死者や行方不明者が出ました。一方で、早めに避難勧告が出されたことによって、たくさんの命が助かりました。

大野市でも、下庄地区の上中野や中津川で避難勧告が出され、災害が遠くの出来事ではないとあらためて感じました。

そこで質問します。

○避難勧告は、誰がどのようにして決めて、出しているのですか。

○大野市全体が災害に遭った場合、約 3 万 3,000 人が避難できるだけの場所はあるのですか。

2 大野東インターチェンジの道の駅整備について

大野市では、中部縦貫自動車道の開通に合わせ、大野東インターチェンジの近くに、新しく道の駅ができると聞きました。私は時々、和泉地区の道の駅九頭竜に立ち寄ります。大きな動く恐竜があったり、いろいろな食べ物や和泉地区で採れた野菜などを売ったりして、見ているだけでとても楽しいです。福井県内だけでなく、県外からの観光客もたくさん訪れて、とてもにぎやかです。

また、春は新緑、夏はキャンプ、秋は紅葉、冬はスキーと一年を通して楽しめる場所が近くにあります。

新しくできる道の駅も、県外だけでなく外国からもたくさんの方が訪れて、一年を通して楽しめる大野市の良さをいっぱい知ることができる場所になってほしいです。

そこで質問します。

○新しい道の駅には、道の駅九頭竜の恐竜のような目立つものを作る予定はありますか。

私は、大野は御清水に代表されるように、水がきれいでおいしい所なので、水を利用したもの、例えば噴水を造るといいなと思います。夏は小さな子の遊び場になるし、夜にライトアップすればきれいです。

○新しい道の駅ではどんな物を売る予定ですか。私は大野でしか食べられないような、大野ならではの物を売ると良いと思います。例えば、夏なら半夏生さばを実際に焼きながら売ると良いと思います。

子ども議員質問 7 番（和泉小学校 5 年 村松吉郎君） -----

18

1 通学路の安全対策について

私たち和泉小学校の通学路で、最近、気になるものがあります。それは今にも崩れそうな倉庫や空き家です。集団登校の集合場所近くや、道路のすぐ横などにもあります。家や道路にも近いので、私たち小学生だけでなく、中学生や地域のお年寄りなど、道を歩く人にとってとても危険だと思います。大きな地震や今年の2月のような大雪があると、ますます危険になってしまうのではないかと心配しています。

また、大野市内では中部縦貫道が整備され、いろいろな所で大きな工事が進んでいます。和泉地区でも最近工事が増え、大きな工事車両が地区の中を走っています。私の家の前も、大きいトラックが速いスピードで走っていきます。その道は通学路でもあり、30^{キロ}制限が掛かっていますが、速いトラックが通るたびに怖い思いがします。

そこで質問します。

○地域の安全確保のために、危険な空き家や倉庫を壊したり、片付けたりできませんか。

○速度制限だけでなく、標識を見やすくするなどの安全対策を考えていますか。

2 和泉地区の活性化について

和泉地区は、山や川などの自然に恵まれたとても良い所なので、私は大人になってもここで生活したいと思います。でも、少し困ることがあります。それは日用品や食料品を買うことができる商店がないことです。日用品を買うためには大野市内まで買いに出るしかありま

せん。中部縦貫道が完成すれば近くなるかもしれませんが、それでも時間もかかるし、とても不便に感じます。

そこで質問します。

○和泉地区の不便さの解消のために、どのようなことを考えていますか。

○コンビニやスーパーなどの商業施設を、和泉地区に誘致することはできませんか。

子ども議員質問 8番（有終西小学校6年 北野奉孝君） ---

21

1 大野市の人口が減ることを、止めることについて

最近、大野市の人口が減ることが問題になっています。私たちが通っている学校の近くでは、空き家や空き地が目立っています。ということは、大野に住む人が減っているということが考えられます。実際、大野市の人口の移り変わりを調べてみると、1998年には41,856人（現在の和泉地区も含める）、2008年には38,535人、2018年には33,735人となっていて、ここ10年間に約5,000人も大野から人が減っているということになります。

このペースでどんどん減っていくと、いずれ市町村を合併したりして、大野市という名前もなくなってしまふかもしれません。

私は、自分が生まれ育った大野市という名前がなくなってしまうとしたら寂しいし、これからも大野市という名前が残ってほしいです。

また、私の学校は6年生以外の学年は1クラスだけで、児童数も減っています。1998年には13クラスで351人いた児童数も、2008年には12クラスで251人、2018年には8クラスで177人と、児童数については20年で約半分にまで減っている状態です。

私は野球をしています。子どもが少なく、どのチームも学校単位でのチーム編成が難しい状態です。私が所属している有終は、有終西小学校と乾側小学校の子どもたちで作られています。私たち6年生が卒団すると、団員は7人となるため、有終東小学校との合併の話も出ています。小中学校の編成問題と同様、野球チームの編成も考えていかないといけないと思います。

そこで、人口減少をくい止めるためには、私は企業誘致をして、働く場所を増やすと思います。

○市は人口を減らさないように、どんな努力をしようと考えていますか。

子ども議員質問 9番（富田小学校6年 野岸さくら君） ---

22

1 大野の名水のPRについて

大野の良いところは、水がおいしく、きれいなことだと思います。私は旅行に行つて、いろいろな所で水を飲みますが、やっぱり大野の水はおいしいと感じます。

大野の名水をPRするために、みずのめぐみんというキャラクターが作られたのは、とてもいいことだと思います。でも、もっと日本全国の人に大野の水のことを知ってもらいたいと思います。

ここで質問です。

○大野の名水をPRする取り組みとして、他に何かしていますか。

また今後、何か予定はありますか。

2 大野の名水を守る取り組みについて

私は、大野の地下水が昔と比べて減っていると聞いています。この後、だんだん減っていくと思うと心配です。

そこで質問です。

○地下水を守る取り組みを市として、何か行っていますか。

子ども議員質問 10番（乾側小学校6年 高村このみ君） --- 24

1 外来種への対策について

大野市は、山に囲まれていて緑が多く、自然が豊かだと思います。その中には、たくさんの生き物がいます。

昨年、総合の学習で乾側地区を流れる日詰川の支流で生き物調査をしました。調べた生き物の中には、ドジョウなどの絶滅危惧種に当たる在来種がいました。そして小魚や魚の卵、水草を食べるブルーギルなどの外来種もいました。

そこで質問します。

○昔と変わらない大野の自然を、外来種から守る取り組みをしていますか。

○しているのであれば、どのような取り組みをしているのか教えてください。

○していないのであれば、なぜしないのですか。した方が良いと思うのですが。

子ども議員質問 1番（上庄小学校6年 白崎愛唯君） ----- 26

1 大野市のマスコットキャラクターについて

大野市には、いろんなマスコットキャラクターがいます。

私が知っているマスコットキャラクターは、市のキャラクター、うぐピー、うめピー、ゆいピー、かめじろう、みずのめぐみん、でかでっちゃん、上庄地区の麻那姫のキャラクター、まなちゃんです。

キャラクターがたくさんいると、いいことがたくさんあります。例えば、うぐピー、うめピー、ゆいピーは、大野市の鳥ウグイスをモチーフにしたキャラクターなので、ウグイスをアピールできます。このように、キャラクターを通して大野の有名なものをアピールできます。

私はいろんなキャラクターを知っていますが、大野市民の中には知らない人もまだまだいると思います。なので、もっともっとアピールして行ってほしいです。

○そこで簡単に楽しくマスコットキャラクターに親しめるよう、そして楽しく大野について知れるよう、絵描き歌を作るといいと思うのですが、そのような活動を市ではどのように行っていますか。

2 マスコットを活用したイベントの開催

今、おおの城まつりでは、いろんなステージイベントが開催されています。しかし、その

ステージイベントにマスコットキャラクターが出演しているのを見たことはありません。せっかくいる大野特有のキャラクターなのに、大野市のイベントに出演しないのはもったいないと思います。

○例えば、おおの城まつりのステージイベントとして、大野市中のマスコットを集めてゲーム大会を開催するというのはどうでしょうか。

マスコットキャラクターが参戦するゲーム大会には、見ている子どもも大人もお年寄りも参戦できるようにすれば、みんなが楽しめる良いイベントになると思います。

○ところで今、おおの城まつりのイベントの中で、マスコットキャラクターが参加しているイベント、又は参加を予定しているイベントは何かありますか。

大野市議会議長講評-----

28

平成30年8月

第4回子ども議会会議録

第1号 平成30年8月20日(月)

大野市子ども議会

平成30年8月・第4回大野市子ども議会 会議録

平成30年8月20日(月)

午後2時00分 開 議

1. 議 事 日 程

- ・大野市民憲章の唱和
- ・大野市教育理念の唱和
- 第1. 議席の指定
- 第2. 会議録署名議員の指名
- 第3. 会期の決定
- 第4. 大野市長あいさつ
- 第5. 子ども議員質問
- 第6. 大野市議会議長講評

2. 出 席 議 員 (10名)

1番	白崎愛唯君	2番	松田花君
3番	千味遥人君	4番	牧野芙南君
5番	高田秀洋君	6番	岡本夏実君
7番	村松吉郎君	8番	北野奉孝君
9番	野岸さくら君	10番	高村このみ君

3. 説明のため出席した者の職・氏名

市 長	石山志保君	副市長	田中雄一郎君
教育長	久保俊岳君	企画総務部長	畑中六太郎君
政策局長	清水啓司君	民生環境部長	坂井八千代君
産経建設部長	朝日俊雄君	教育委員会事務局長	山田靖子君

消 防 長 松 本 耕 治 君 財 政 課 長 吉 田 克 弥 君

4. 出席したオブザーバーの職・氏名

大野市議会 議 長	山 崎 利 昭 君	大野市議会 副 議 長	廣 田 憲 徳 君
大野市議会 議 員	榮 正 夫 君	大野市議会 議 員	砂 子 三 郎 君
大野市議会 議 員	畑 中 章 男 君	大野市議会 議 員	兼 井 大 君
大野市議会 議 員	島 口 敏 榮 君	大野市議会 議 員	高 岡 和 行 君
大野市議会 議 員	松 原 啓 治 君	大野市議会 議 員	藤 堂 勝 義 君
大野市議会 議 員	宮 澤 秀 樹 君	大野市議会 議 員	川 端 義 秀 君
大野市議会 議 員	梅 林 厚 子 君	大野市議会 議 員	永 田 正 幸 君
大野市議会 議 員	松 田 元 栄 君	大野市議会 議 員	野 村 勝 人 君
大野市議会 議 員	堀 田 昭 一 君		

5. 事務局職員出席者

局 長	岸 田 尚 悟	次 長	川 端 秀 和
次長補佐	多 田 桂 子	企画主査	松 川 正

6. 議事

(午後2時00分 開議)

○議会事務局長(岸田尚悟君)

皆さん、こんにちは。

これから、第4回子ども議会が開会されるわけですが、その前に本日も出席の皆さまをご紹介させていただきます。

まず子ども議員を、紹介いたします。

上庄小学校6年 白崎愛唯さん。

(白崎愛唯君 起立、礼)

○議会事務局長(岸田尚悟君)

有終東小学校6年 松田 花さん。

(松田 花君 起立、礼)

○議会事務局長(岸田尚悟君)

小山小学校6年 千味遥人さん。

(千味遥人君 起立、礼)

○議会事務局長(岸田尚悟君)

有終南小学校6年 牧野芙南さん。

(牧野芙南君 起立、礼)

○議会事務局長(岸田尚悟君)

阪谷小学校6年 高田秀洋さん。

(高田秀洋君 起立、礼)

○議会事務局長(岸田尚悟君)

下庄小学校6年 岡本夏実さん。

(岡本夏実君 起立、礼)

○議会事務局長(岸田尚悟君)

和泉小学校5年 村松吉郎さん。

(村松吉郎君 起立、礼)

○議会事務局長(岸田尚悟君)

有終西小学校6年 北野奉孝さん。

(北野奉孝君 起立、礼)

○議会事務局長(岸田尚悟君)

富田小学校6年 野岸さくらさん。

(野岸さくら君 起立、礼)

○議会事務局長(岸田尚悟君)

乾側小学校6年 高村このみさん。

(高村このみ君 起立、礼)

○議会事務局長(岸田尚悟君)

次に、答弁のために出席しています理事者の皆さんをご紹介します。

石山志保市長。

田中雄一郎副市長。

久保俊岳教育長。

畑中六太郎企画総務部長。

清水啓司政策局長。

山田靖子教育委員会事務局長。

坂井八千代民生環境部長。

朝日俊雄産経建設部長。

松本耕治消防長。

吉田克弥財政課長。

○議会事務局長(岸田尚悟君)

次に、オブザーバーとして出席の、大野市議会議員を紹介いたします。

山崎利昭議長。

廣田憲徳副議長。

榮 正夫議員。

砂子三郎議員。

畑中章男議員。

兼井 大議員。

島口敏榮議員。

高岡和行議員。

松原啓治議員。

藤堂勝義議員。

宮澤秀樹議員。

川端義秀議員。

梅林厚子議員。

永田正幸議員。

松田元栄議員。

野村勝人議員。

堀田昭一議員。

○議会事務局長(岸田尚悟君)

以上で出席者の紹介を終わります。

それでは、子ども議会議長の白崎さんは、議長席に着席ください。

(議長 白崎愛唯君 着席)

○議長（白崎愛唯君）

皆さん、こんにちは。

私は、本日の議長を務めさせていただきます上庄小学校6年、白崎愛唯です。

どうぞよろしく申し上げます。

初めに、大野市民憲章と大野市教育理念を唱和しますので、皆さんお立ちください。

（全員起立）

○議長（白崎愛唯君）

野岸さくらさん、高村このみさんは、議長の前の上にお願ひします。

（野岸さくら君 登壇）

○議長（白崎愛唯君）

最初に、大野市民憲章を唱和します。

富田小学校6年、野岸さくらさんの後に続いて唱和してください。

野岸さん、お願いします。

○9番（野岸さくら君）

大野市民憲章。

九頭竜川の上流にある大野は、清らかな水と空気に恵まれ、緑豊かな自然にはぐくまれてきました。

純朴さの中にも幕末の大野丸に象徴される進取の気象と、雪国特有のねばり強さとで、今日の繁栄を築いてきました。

私たちは、美しい自然と輝かしい伝統を受け継ぎ、住みよく生きがいのあるまちづくりを目指して、市民憲章を定めます。

一つ、みずみずしさあふれるまちに。

○全員

私たちは、美しい自然を守り、豊かな郷土をつくります。

○9番（野岸さくら君）

一つ、小さな芽が伸びるまちに。

○全員

私たちは、伝統を受け継ぎ、新しい文化を育てます。

○9番（野岸さくら君）

一つ、大きくはばたくまちに。

○全員

私たちは、働くことに喜びを持ち、郷土の発展につとめます。

○9番（野岸さくら君）

一つ、あたたかい心のかようまちに。

○全員

私たちは、健康で幸せな家庭をつくり、親切の輪を広げます。

○9番（野岸さくら君）

一つ、明るくやすらぎのあるまちに。

○全員

私たちは、まちづくりに進んで参加し、住みよいまちを築きます。

（高村このみ君 登壇）

○議長（白崎愛唯君）

次に、大野市教育理念を唱和します。

乾側小学校6年、高村このみさんの後に続いて唱和してください。

高村さん、お願いします。

○10番（高村このみ君）

大野市教育理念。

「明倫の心を重んじ 育てよう 大野人」

○全員

人としての生きる道を明らかにし、進取の気象を育てた明倫の心は、いつの時代においても変わらない大野の学びの原点です。

私たちは、この心を大切に、優しく、賢く、たくましい大野人になるため、学び、育てることに努めていきます。

○議長（白崎愛唯君）

皆さん、お座りください。

（全員着席）

○議長（白崎愛唯君）

これより、平成30年8月第4回大野市子ども議会を開会します。

本日の議事日程は、皆さんにお配りしたとおりです。

ただちに本日の会議を開きます。

これより日程に入ります。

日程第1「議席の指定」を行います。

議席については、既にくじにより決定しておりますので、議長の私が読み上げます。

2番 有終東小学校6年、松田 花さん。

3番 小山小学校6年、千味遥人さん。

4番 有終南小学校6年、牧野芙南さん。

5番 阪谷小学校6年、高田秀洋さん。

6番 下庄小学校6年、岡本夏実さん。

7番 和泉小学校5年、村松吉郎さん。

8番 有終西小学校6年、北野奉孝さん。

9番 富田小学校6年、野岸さくらさん。

10番 乾側小学校6年、高村このみさん。

そして1番、私、

上庄小学校6年、白崎愛唯をそれぞれ指定いたします。

日程第2「会議録署名議員の指名」を行います。

会議録署名議員は、議長の私が

2番 松田 花さん、

3番 千味遥人さん

のお二人を指名します。

日程第3「会期の決定」を行います。

この子ども議会の会期は、本日1日としたいと思います。

この決定は、電子採決で行います。

電子採決の準備をお願いします。

(議会事務局、電子採決の準備)

○議長(白崎愛唯君)

会期を本日1日とすることに賛成の人は、賛成ボタンを押してください。

(各議員 表決)

○議長(白崎愛唯君)

確定いたします。

(採決集計 賛成9人 反対ゼロ人)

○議長(白崎愛唯君)

全員賛成です。

よって、会期は本日1日と決定しました。

日程第4、大野市長よりごあいさつをいただきます。

大野市長、石山志保さん。

(市長 石山志保君 登壇)

○市長(石山志保君)

皆さん、こんにちは。

私は、大野市長の石山志保です。

今回で4回目となる大野市子ども議会は、将来の大野市を担う皆さんが、日ごろから疑問に感じていることや、大野市の将来について質問や提案をすることで、市役所の仕事や議会の仕組みを理解してもらうとともに、大野に愛着を持って、将来も住み続けたいと思ってもらえるように開催するものです。

今日は、市内の小学校から10人の皆さんに、子ども議員として出席していただきました。

私は、これから皆さんと大野市が良くなるために、話し合いができることがうれしく、とてもわくわくしています。

今、皆さんがいらっしゃるこの場所は、議場といいます。

この議場は、皆さんが安全で安心に暮らし、また大野市が発展を続けられるように、いろいろなことを話し合い、そして今後の大野市のことを決めるとても大切な場所です。

皆さんは、将来、大野市がどんなまちになったらいいと考えていますか。

私は、先月、市長になったばかりです。

皆さんが大好きな自然がいっぱいのこの大野を、もっとたくさんの人に好きになってもらいたい、大野を好きな仲間を増やしたいという思いで市長になりました。

今日は、皆さんのいろいろな質問に一所懸命答えて、皆さんと一緒に大野市のことを考えたいと思っています。

ここから皆さんの顔を拝見しますと、これから開催する子ども議会に対する強い意欲

と熱意が伝わってきて、そしてちょっぴり緊張していて、大変楽しみに、そして頼もしく思っているところです。

この広い議場で、大勢の人の前で話すのは、とても緊張するかもしれませんが、自信を持って、ゆっくり、元気よく質問をしてください。

○議長（白崎愛唯君）

日程第5「子ども議員質問」を行います。

松田 花さんは、質問席へお願いします。

（2番 松田 花君 質問席へ移動）

○議長（白崎愛唯君）

最初に、2番、有終東小学校6年、松田花さんが質問を行います。

（2番 松田 花君 「議長」と呼ぶ）

○議長（白崎愛唯君）

松田さん。

○2番（松田 花君）

私は二つ質問をします。

一つ目は、学校再編についてです。

小学校を二つ、中学校を一つにするという話が出ています。

それについての意見はさまざまです。

そこで、質問です。

この再編について、大野市の考えを教えてください。

メリットとデメリットは何ですか。

また、デメリットはどのようにすれば克服できますか。

私が考えるメリットは、学校内で競争ができる、友達が増えるなどで、デメリットは、登下校が大変、連体や連音など、ほかの学校と交流する機会がなくなることなどです。

二つ目の質問は、親子で楽しめる屋内施設を造ろうです。

雨の日や大雪の日、気温が高く暑い日に遊べる屋内施設があるといいと思います。

また、小さい子から大きい子、大人まで、

誰でも利用できる楽しい施設があると、市外や県外からも人が集まり、大野市が活性化するとおもいます。

そこで、質問です。

大野市にこういう施設ができると、大野市に来る人が増えて、大野市が良くなると思うのですが、これについてどう思いますか。

また、大野市に親子で体験できたりする観光スポットや施設を造るといいと思います。

大野市以外の所から来た人たちがもう一度来たい、ここで働きたいと思ってくれば、大野にたくさん人が来て人口が増えるかもしれません。

また、いいPRになるとおもいます。

そこで、質問です。

大野市はこれという観光スポットや施設を造り、大野市をPRすればより良くなると思うのですが、これについてどう思いますか。

これで質問を終わります。

○議長（白崎愛唯君）

松田さんの質問について、答弁をお願いします。

（市長 石山志保君 「議長」と呼ぶ）

○議長（白崎愛唯君）

市長、石山さん。

（市長 石山志保君 答弁席へ移動）

○市長（石山志保君）

松田議員のご質問にお答えします。

大野市教育委員会では、大野市の少子化が進んでいる状況の中、将来を担う子どもたちにより良い教育環境を提供していくことを考えて、平成29年1月に大野市小中学校再編計画を作りました。

この計画は、いろいろな個性を持った子どもたち同士がお互いに磨き合い、そして高め合えるような人数の学校にするために、平成35年に中学校5校を1校に、平成38年に小学校10校を2校に再編していくこととしていま

す。

しかし、今年の7月に私が市長になるときに、地域の方々から、再編計画を作るのを急ぎ過ぎたのではないかという意見をお聞きし、この計画の見直しが必要であると考えています。

私は、これからも子どもが減り続けていくと予想されている中、学校再編は必要と考えています。

学校を再編していくメリットには、松田議員が述べられた「たくさん友達ができる」「競争ができる」以外にも「体育でチームをいくつも作って対戦できる」「話し合いや活動を協力しながら進め、お互いの良さを知ることができる」「さまざまなクラブや部活動の中から、選ぶことができる」などが考えられます。

また、デメリットには、松田議員が述べられたことなどが考えられますから、教育委員会には、登下校に負担が掛からないようスクールバスを配置したり、教職員や学習を支援する結の故郷支援員などをできるだけ多く配置したりして、子どもたちが勉強やいろいろな活動がしやすくなるよう、工夫していただきたいと思います。

次に「親子で楽しめる屋内施設」についてお答えします。

初めに、雨の日や大雪の日、夏の暑い日などに遊べる屋内施設があると良いというご意見についてですが、今年の夏は、これまでに経験したことがない猛暑が続き、特に屋外での活動には注意が必要になっています。

また、今年の冬は37年ぶりの大雪のため、小中学校が休業になるなど、外出するのも大変な日が続きましたので、小学生の皆さんは、天候に左右されずに遊ぶことができる場所があったらいいと思われたのではないかと思います。

大野市には、屋外の活動ができないときに、皆さんが利用できる身近な施設として児童館があります。

また、本願清水イトヨの里や歴史博物館、図書館などでは、大野の自然や歴史について楽しく学ぶことができますので、ぜひ利用してみてください。

県内には、天候が悪くても、子どもから大人まで楽しく利用できる施設として、例えば坂井市にある福井県児童科学館エンゼルランドふくいがありますが、松田議員もエンゼルランドのような施設が大野市にあると良いのご意見かと思えます。

今のところ、エンゼルランドのような施設を造る予定はありませんけれども、大野市の自然や特色を生かした子どもも大人も楽しく利用できる施設があります。

そこで次に、親子で体験できる観光スポットについてお答えします。

大野市で体験できる観光スポットとして、キャンプやスキーなどのアウトドアを楽しむ施設があります。

特にスキーは、今年の春に北陸三県で唯一の雪のない時期でも滑ることができる人工ゲレンデが、南六呂師にオープンしました。

夏休み期間から10月8日までの土、日曜日と祝日に営業していますが、そのほかの日につきましても、事前に予約をすれば利用することができます。

また、昨年秋には和泉地区に大野市化石発掘体験センター「ホロッサ」がオープンしました。

この施設は、今から4億年以上前の古生代から1億3,000万年前の白亜紀前期の地層の岩石をハンマーで叩いて発掘する施設で、全国的に数少ない恐竜の化石も発見できる可能性のある施設で、いずれも貴重な体験ができます。

そのほか、南六呂師では日本一星空がきれいだと認定された、星空を生かした天体観測と合わせた体験メニューなどを作る予定です。

このように、大野市にも親子で楽しめる施設や体験メニューが増えてきていますので、これらの施設や体験をさらにPRし、多くの方に来てもらえるように取り組んでいきたいと思ひます。

(2番 松田 花君 「議長」と呼ぶ)

○議長(白崎愛唯君)

松田さん。

○2番(松田 花君)

これで質問を終わります。

○議長(白崎愛唯君)

以上で松田 花さんの質問を終わります。松田さんは、自分の席に戻ってください。千味遥人さんは、質問席へお願いします。

(3番 千味遥人君 質問席へ移動)

○議長(白崎愛唯君)

次に、3番、小山小学校6年、千味遥人さんが質問を行います。

(3番 千味遥人君 「議長」と呼ぶ)

○議長(白崎愛唯君)

千味さん。

○3番(千味遥人君)

福井しあわせ元気国体・元気大会について質問をします。

今年、福井しあわせ元気国体・しあわせ元気大会が開かれます。

私たちの住む大野市でも競技として相撲、カヌー、自転車の3種目、公開競技としてパワーリフティング、デモンストレーションスポーツとしてサイクリング、しあわせ元気大会ではバレーボールが行われます。

私たちは、幾つかの競技を観戦することができ、今から楽しみです。

そこで、質問です。

国体に向けて、市民としてどんな取り組み

をしますか。

私たちの学校では昨年、三重県の応援ののぼりを作ったり、今年、1学期には全校でメッセージカードを書いたりしました。

このほかに、小学生ができる取り組みはありますか。

大野に多くの選手たちが来ます。

大野に来てくれた選手たちに、大野の良さを紹介するPR動画などはありますか。

あるのなら一度見てみたいです。

また、国体後も大野に来てもらうために、福井の有名なおろしそばを食べてもらったり、大野のおいしい水を渡したりしてはどうでしょうか。

最後に、市民の健康を増進するため、公園を大きくしたり、気軽に運動ができる場所を増やしてはどうでしょうか。

いろいろな人が集まり、遊んだりして運動に親しむ人が増えていくと思ひます。

これで質問を終わります。

○議長(白崎愛唯君)

千味さんの質問について、答弁をお願いします。

(市長 石山志保君 「議長」と呼ぶ)

○議長(白崎愛唯君)

市長、石山さん。

(市長 石山志保君 答弁席へ移動)

○市長(石山志保君)

千味議員のご質問にお答えします。

福井しあわせ元気国体は、大野市でデモンストレーションスポーツのサイクリング、公開競技のパワーリフティング、9月29日から10月8日まで自転車ロードレース、相撲、カヌー、スラローム・ワイルドウォーターの3つの正式競技が開催され、また元気大会は、10月13日と14日に、聴覚に障害のある方を対象としたバレーボール競技が開催されます。

これらの大会の開催では、市民一人一人が

おもてなしの心を持って来場者をお迎えし、皆さんに満足していただける魅力あふれる大会になるよう準備を進めています。

まず国体に向けての市民の取り組みについてお答えします。

市民の皆さんには、花の苗から育てていただいたプランターの花を競技会場や主な道路などに並べ、大野市を訪れる方々をお迎えする花いっぱい運動にご協力いただいております。またボランティアとして競技の補助や競技会場の美化、選手の受け付けなどのお手伝いに参加していただくことになっています。

そして大野市内では、飾り付けやはびねすダンスなどの取り組みがされています。

市内の福祉施設などが、はぴりゅうの飾りを作り、市役所や銀行などの窓口に飾ったり、上庄地区では、はぴりゅうの形に見えるよう稲を育てる田んぼdeアートという活動がされたりしています。

また、先日のおおの城まつりでは、はびねすダンスやはびねす音頭が踊られました。

はびねすダンスは、ふるさと芸能発表会で、県のコンテストに入賞した有終南小学校の皆さんにより披露されたほか、多くの市民が六間通りではびねす音頭を踊りました。

さらにはびねすダンスは、市小学校連合体育大会の開会式や各種イベントなどでも披露されるとお聞きしています。

次に、小学生の皆さんの取り組みについてお答えします。

これまで小学生の皆さんには、ポスターコンクールへの参加、のぼり旗のデザイン、メッセージカードの作製を行っていただき、また学校で花の苗を育てていただいております。

また、先日の大花火大会では、オリンピックの聖火に当たる、大野市の火を起こす炬火(きょか) イベントに参加していただきました。

さらに9月2日には、美化活動としてスポ

ーツ少年団の皆さんに参加していただき、大野のシンボルといえる大野城亀山周辺や和泉地区のカヌーコース周辺をきれいにして選手をお迎えしたいと考えています。

次に、大野の良さを紹介するPR動画についてお答えします。

大野市には、結の故郷越前おおのというタイトルのPR動画があり、インターネットの動画サイトからも見ることができます。

元気国体では、競技会場に設置するモニターで放映し、観光スポットや歴史、おいしい食べ物など、大野の魅力を伝えていきます。

次に、国体後も大野に来てもらうための取り組みについてお答えします。

全国から大野を訪れる選手に大野の良さを知ってもらおうと、観光スポットやおいしいそばの魅力を紹介するパンフレットなどと合わせて、学校で作っていただいたメッセージカードを添えて、ペットボトルに入った大野の水や大野のサトイモのお菓子を配ります。

そして競技会場では、おろしそばやとんちゃん、のっぺい汁、マイタケ料理など、大野のおいしい食べ物を市内の団体の協力を得て、振る舞うこととしています。

小学生の皆さんには、学校の授業として観戦していただくこととしていますが、お休みの日にもぜひ競技会場に来て応援していただき、大会を盛り上げていただきたいと思います。

次に、公園を大きくしたり、気軽に運動できる場所を増やしたりすることについてお答えします。

気軽に運動できるスポーツ施設としては、エキサイト広場、明治公園テニス場、B&G海洋センター、真名川憩いの島や、和泉地区の和泉グラウンドなどがあります。

また、市内各小中学校の体育館やグラウンドも、夜間や休日など、学校が使わない時間

は、市民の皆さんに利用していただいています。

なお千味議員のお住まいの小山地区には、気軽に運動できる場所として小山小学校の体育館とグラウンドがあるほか、近くには奥越ふれあい公園もあります。

ここは、陸上競技場と公園施設となっており、公園施設は申し込みも不要で、ジョギングや散歩など、いつでも無料で気軽にご利用いただけます。

市民の健康を増進するというとても良いご提案です。

市では、今あるものを大切に、計画的な施設の修繕やスポーツ備品の導入を行いながら、市民の方にもっと利用してもらえようようにしていこうと考えています。

(3番 千味遥人君 「議長」と呼ぶ)

○議長(白崎愛唯君)

千味さん。

○3番(千味遥人君)

これで質問を終わります。

○議長(白崎愛唯君)

以上で千味遥人さんの質問を終わります。

千味さんは、自分の席に戻ってください。

牧野芙南さんは、質問席へお願いします。

(4番 牧野芙南君 質問席へ移動)

○議長(白崎愛唯君)

次に、4番、有終南小学校6年、牧野芙南さんが質問を行います。

(4番 牧野芙南君 「議長」と呼ぶ)

○議長(白崎愛唯君)

牧野さん。

○4番(牧野芙南君)

私は、質問を二つします。

一つ目は、大野市の観光客を増やすことについてです。

大野には、イトヨや大野城など、素晴らしいものがたくさんあります。

ですが私には、その大野の素晴らしいものが市外の人にあまり知られていないと感じています。

そこで、質問します。

大野市では観光客を増やすために、イトヨや大野城のどんなPRをしていますか。

私は、もっと大野のことを市外の人に知ってもらいたいです。

そのために、とっってもかわいくてみんながはまるPRキャラを作ってはどうかでしょうか。

そして大野市のことを知って、いいなと思いい、住んでくれる人も出るのではないかなと思います。

二つ目は、大野市の人口を増やすことについてです。

大野市の人口は、どんどん減ってきています。

それは大野市の働く場所が少なくなっているというのも、理由の一つにあると思います。

そこで、提案します。

名水のアピールにもなるビール工場を造ってはどうかでしょうか。

飲料水メーカーをつくることで、工場見学や工場で働く人が来て、観光客や人口の増加につながると思います。

また、大野市として人口を増やすために工夫していることはありますか。

これで終わります。

○議長(白崎愛唯君)

牧野さんの質問について、答弁をお願いします。

(市長 石山志保君 「議長」と呼ぶ)

○議長(白崎愛唯君)

市長、石山さん。

(市長 石山志保君 答弁席へ移動)

○市長(石山志保君)

牧野議員のご質問にお答えします。

まず「大野市の観光客を増やすこと」についてのうち、観光客を増やすために、イトヨや大野城のどんなPRをしているのかについてお答えします。

越前大野城は、天空の城がテレビなどで取り上げられたことをきっかけに、多くの観光客が訪れるようになりました。

その効果もあり、越前大野城を含む大野市を訪れる観光客は、3年連続で200万人を超えています。

越前大野城のPRは、現在、大野市のホームページで紹介しているほか、観光パンフレットなどに載せて、県内外の観光拠点や旅行会社に配っています。

また、平成28年度に作製した冬の越前大野城を撮影したポスターが、日本観光コンクールのオンライン投票で全国1位に選ばれています。

さらに多くの人に越前大野城を訪れてもらえるように、現在、越前大野城では中部地方の有名な城を巡る日本どまんなかお城スタンプラリーや、日本城郭協会の日本100名城スタンプラリーなど、近くの市町村や関係する団体と協力していろいろなスタンプラリーを行っています。

また、城まつりの期間には、市民や帰省した人などに気軽に入館してもらえるよう入館料を無料にしました。

次に、イトヨのPRについて申し上げます。

牧野議員の居る有終南小学校の皆さんには、毎年、イトヨの里を応援してもらっています。

今年は、イトヨの里に行こうと書いた大きな横断幕を作ってもらいました。

ありがとうございます。

この横断幕も活用して、イトヨをPRしていきます。

イトヨのPRは、イトヨが息できる大野市の水環境や水を守ってきた歴史をPRする

ことです。

大野市では、ホームページなどで大野の水を発信するとともに、イベントなどでの市外の方への名水の振る舞いや、水への恩返し取り組みなどを通して、さまざまな形で全国に向けて、大野の水をPRしています。

次に、イトヨの観察施設である本願清水イトヨの里のPRについて申し上げます。

大野市の観光パンフレットに掲載するほか、市内のほかの博物館と共同で、ポスターやチラシを作ってPRしています。

現在は、大野と日本各地の天然記念物展を開催していますので、チラシを作り、九頭竜道の駅などにも置いています。

また、市外の小学生が遠足で来たときや、イトヨの仲間を研究する人の集まりなどを使って、イトヨの里の魅力をPRし、家族や友達と来てもらえるようお願いをしています。

次に、かわいくて、みんながはまるPRキャラについてお答えします。

大野市には、うぐピーやうめピー、かめじろう、みずのめぐみんなど、かわいくて、大野市の皆さんに愛されているキャラクターがいます。

私もとりわけ、かめじろうを気に入っています。

また上庄地区には、昔から伝わる麻那姫伝説の中で、大干ばつから農民を救った麻那姫をイメージした麻那ちゃん、阪谷地区には、経ヶ岳をイメージした頭巾に阪谷地区で栽培が盛んなヒマワリを頭に付け、手には安全な野菜の入ったかごを持っているさかずきんちゃんがあり、それぞれ地区のイベントで活躍しています。

今は、これらの活躍中のキャラクターをもっとたくさんの人に知ってもらえるようにすることが大事だと考えています。

うぐピーやうめピーがどうやったらスター

になれるのか、牧野議員も一緒に考えてくれたらうれしいです。

次に「大野市の人口を増やすこと」についてのうち、名水のアピールのために、ビール工場を造ってはについてお答えします。

牧野議員からご提案のありました名水のアピールにもなるビール工場を造ってはとのご意見ですが、水への恩返しキャリングウォータープロジェクトを通じて、大野市に関心を持ってくれる会社の中には、飲料水メーカーもあります。

もし、実際に工場ができれば、工場で働いたり工場を見学したりするために、大野市に訪れる人が増えることが期待されますので、これからもビールなどの工場を大野に造ってもらえるよう取り組んでいきます。

次に、大野市の人口を増やすために工夫していることはについてお答えします。

大野市では、1980年に約4万3,000人いた人口が、35年間で約1万人減少しました。

このまま何もしないでいると、2040年には約2万1,000人まで人口が減るといわれています。

そこで、大野市では平成27年に大野市人口ビジョンと大野市総合戦略を作り、2040年に2万7,000人の人口を保つことを目標にしています。

この目標を達成するために、働く場所を作ったり、観光客を増やしたり、結婚や子育てを応援したり、皆さんが子どもを産みやすい地域づくりをしています。

大野市総合戦略の中で重要な取り組みを、幾つかご紹介します。

まずは大野市を通り、福井市から長野県松本市までを結ぶ自動車専用の中部縦貫自動車道と、大野市の観光情報をPRしたり、特産品を売ったりする道の駅を造ることです。

新しい道路が完成することで、大野市の外

や福井県の外のまちとも、短い時間で行き来することができるようになりますので、多くの人が観光で大野市を訪れて、活気のあるまちになることが期待できます。

中部縦貫自動車道の近くには、大きな工場などに来てもらうための産業団地も造ることで、大野市内で働ける場所を増やし、若い人たちが大野市に住み続けられることを目指します。

また、若い人に大野市で住み続けてもらったり、大野市に帰ってきてもらったりするために、市内の高校生の皆さんに、大野で頑張っている大人と交流してもらい、大野の良さを知ってもらう活動をしています。

いつか大野に帰ってきてほしいというメッセージを歌にして、高校の卒業式で、卒業生に向けて保護者の皆さんが歌う取り組みも行っています。

さらには、大野市内で働く若者や、結婚や子育てをする夫婦を応援しています。

このほかにも、大野市ではいろいろな取り組みを行っていますが、人口の減少は日本全国で起こっている問題なので、簡単に人口を増やすことはできません。

しかし、人口減少を少しでも食い止め、皆さんが希望を持って大野市で生活していけるように、これからもまちづくりに取り組んでいきます。

(4番 牧野英南君 「議長」と呼ぶ)

○議長(白崎愛唯君)

牧野さん。

○4番(牧野英南君)

再質問をします。

確かに、大野城やイトヨについてPRをしていると思いますが、けどまだ、PRの仕方が弱いと思います。

できれば、PRキャラの商品化をし、若者に人気のあるエルパや西武での販売をするの

も良いでしょう。

やるなら、もっと大野市全体で徹底的に取り組むのを望みます。

終わります。

(産経建設部長 朝日俊雄君 「議長」と呼ぶ)

○議長(白崎愛唯君)

朝日さん。

○産経建設部長(朝日俊雄君)

さらなる大野市のPRのために、キャラクターを商品化することも、今後、検討してまいります。

(質問時間が終了する)

○議長(白崎愛唯君)

以上で牧野芙南さんの質問を終わります。

牧野さんは、自分の席に戻ってください。

高田秀洋さんは、質問席へお願いします。

(5番 高田秀洋君 質問席へ移動)

○議長(白崎愛唯君)

次に、5番、阪谷小学校6年、高田秀洋さんが質問を行います。

(5番 高田秀洋君 「議長」と呼ぶ)

○議長(白崎愛唯君)

高田さん。

○5番(高田秀洋君)

私は、二つ質問をします。

一つ目は、大野市の財政についてです。

文化会館が建て替えられると聞きました。

そこで、質問です。

新しい施設を造るときには、だれが発案したり、設計したりするのですか。

お金は、どのような財源から出されますか。

文化会館を建てる場所は、駐車場のスペースを考えると、今ある場所ではなく、別の場所が良いと思います。

このことについては、どう思いますか。

二つ目の質問は、大野市のまちおこしについてです。

私たちは、授業で大野の水がきれいかどうかの調査をしました。

とてもきれいだと分かりました。

大野の豊かな自然を守っていききたいと思いました。

そこで、質問です。

大野市として水をきれいに保つための取り組みをしていますか。

またどのような活動ですか。

大野の自然を守る活動があったら教えてください。

どのようなまちおこしをしているのかにも興味を持ちました。

市として行っているまちおこしは、どのようなものがあるか教えてください。

○議長(白崎愛唯君)

高田さんの質問について、答弁をお願いします。

(市長 石山志保君 「議長」と呼ぶ)

○議長(白崎愛唯君)

市長、石山さん。

(市長 石山志保君 答弁席へ移動)

○市長(石山志保君)

高田議員のご質問にお答えします。

最初に、新しい施設を造る場合には、今ある施設が古くなったので、皆さんが安全に安心して使うことができるようにする場合や、皆さんの役に立つ施設や大野市を宣伝して多くの人に訪れてもらうための施設を新しく造る場合があります。

古くなった施設を新しく建て直したり、修繕をしたりする例としては、今、皆さんが居る大野市役所や結とぴあ、休日急患診療所などがあります。

また、新しく施設を造る例としては、和泉地区に建てた化石発掘体験センター「ホロッサ」や市民の皆さんが持っている絵を展示するCOCONOアートプレイスなどがありま

す。

どちらの場合も、まず市がどのような建物にするかの計画や、どれだけのお金を必要とするかの予算の案を作り、市民の皆さんの代表である市議会と話し合っただけで案を認めていただいています。

また、どのような建物にするかを決めるときには、関係する人たちや専門的な知識を持つ人たちに意見を聞いて、どうすると建物が皆さんの役に立ち、使いやすくなるかなどを決めています。

次に、財源、つまりお金の出所についてですが、文化会館だけでなく、新しい施設を造る場合は、まず国や県などから補助してもらえないか検討します。

国や県などの補助金を充てた残りの金額、つまり大野市が負担する金額については、基金と呼ばれる貯金を取り崩したり、銀行などからお金を借りたりすることもあります。

文化会館については、工事の計画や費用など、詳しい内容を決めていく中で、将来の大野市の財政に大きな負担とならないように工夫して財源を考えたいと思います。

次に、文化会館を建てる場所についてですが、去年、教育委員会が作った大野市文化会館整備基本構想では、隣の駅東公園に新しい文化会館を建て、文化会館を壊した跡に駅東公園を造り直すことになっています。

駐車場については、現在よりも広くできるよう検討しています。

次に「大野市の町おこし」についてお答えします。

大野市は九頭竜川の上流に位置し、豊かできれいな水に恵まれています。

大野市では、市内を流れる九頭竜川や真名川など、主な九つの川で定期的に水質を検査し、法律で決められている基準を満たしているかを確認しています。

これまでの検査の結果、ほとんどの川の水質は良好で、きれいに保たれていますが、市街地を流れる小さな川では、家庭から出る水などの影響で、汚れている川も見られます。

川が汚れる主な原因は、市民の皆さんが使用した台所やお風呂、洗濯の排水や工場などからの汚れた水によるものと考えられ、公共下水道への加入や合併処理浄化槽の設置をお願いするなどしています。

小学生の皆さんを対象とした取り組みとしては、夏休みに越前おおの環境塾を開催し、川の水生生物について学習するなど、川に親しむイベントを行っています。

また、下水処理センターでは、汚れた水がきれいになる仕組みについての施設見学や出前講座、イベントを開催し、下水道への理解を深めています。

今回、高田議員が大野市の水をはじめとする豊かな自然の大切さを学び、守っていきたいと思われたことをとてもうれしく思います。

そのような気持ちを多くの市民の方々、小学校の皆さんに持ってもらうことが、大切なことではないかと思っています。

次に、大野市の自然を守る活動についてお答えします。

大野市は豊かな自然に囲まれています。ごみのポイ捨てや、捨ててはいけない所に不用になった物を捨てる不法投棄がその自然環境を壊しています。

そのため、不法投棄物を拾ったり、福井県と市の合同パトロールなどを行ったりして、不法投棄の早めの発見と防止に努めています。

自然を守る活動としては、会社やグループ、地域の人たちと一緒にドングリの苗木を育て、山に植える森づくり活動をしています。

この活動では、毎年春に大野市内の小学2年生を中心に、ドングリの種から苗木を育ててもらっています。

夏には、山に植えたドングリの木に光が当たるように、草刈りをしたり、木を支える杭を打ったりします。

秋になると、学校で育てたドングリの苗木をどんぐり広場に植え替えて3年間育てます。

3年間育てた苗木は、平家平などの山に植えています。

そして次の年に苗木を育ててもらうためのドングリ拾いも行っています。

地下水をきれいに保つ取り組みとしては、大野市では、市民の皆さんの多くが直接地下水を飲み水などに使用していることから、毎年、市内41カ所で水質検査を行っています。

地下水は、森林や水田に降った雨が地中に染み込み、ろ過されて、きれいな地下水になります。

ですから、地下水をきれいに保つには、森林や水田を守ることがとても大切です。

そこで、森林を管理する人がいなくなるといような取り組み、山が荒れないようにしたり、山に光が入りやすくするために木を切る間伐を進めたりしています。

また、水田では、農薬や化学肥料を減らして、生き物が住みやすい環境をつくりながら作物を育てる環境にやさしい農業を進めたり、作る人がいない田んぼが増えないようにしたりしています。

次に、大野市が行っている町おこしはどのようなものがあるかについてお答えします。

まず町おこしにつながるものの一つとして、地域おこし協力隊制度のことを説明します。

この制度は、都会の若い人に地域おこし協力隊員になってもらい、仕事をしながら地域の人たちとの触れ合いを行うものです。

大野市で生活している私たちには当たり前のことでも、市外から来た若い人には、すごいと思われる大野の魅力がたくさんあります。

これらの魅力を生かした活動を、現在5人の隊員に行ってもらっています。

次に、結の故郷づくり交付金事業について説明します。

この制度は、地域ごとに行っている活動を応援することで、地域の元気につなげる取り組みです。

一例を言いますと、高田議員の住んでいる阪谷地区では、さかだに雪まつりを行っています。

このようなことが市民の刺激となり、地域のさまざまな活動が活発になり、町おこしにつながっていくと考えています。

(5番 高田秀洋君 「議長」と呼ぶ)

○議長(白崎愛唯君)

高田さん。

○5番(高田秀洋君)

これで質問を終わります。

○議長(白崎愛唯君)

以上で高田秀洋さんの質問を終わります。

高田さんは、自分の席に戻ってください。

岡本夏実さんは、質問席へお願いします。

(6番 岡本夏実君 質問席へ移動)

○議長(白崎愛唯君)

次に、6番、下庄小学校6年、岡本夏実さんが質問を行います。

(6番 岡本夏実君 「議長」と呼ぶ)

○議長(白崎愛唯君)

岡本さん。

○6番(岡本夏実君)

私は、二つ質問をします。

一つ目は、災害時の避難勧告についてです。

この前の西日本を中心とした豪雨では、各地で土砂災害や河川の氾濫が起き、広島、岡山、愛媛などで多くの死者や行方不明者が出ました。

一方で、早めに避難勧告が出されたことによって、たくさんの命が助かりました。

大野市でも、下庄地区の上中野や中津川で避難勧告が出され、災害が遠くの出来事ではないとあらためて感じました。

そこで、質問をします。

避難勧告は、誰がどのようにして決めて、出しているのですか。

大野市全体が災害に遭った場合、約3万3,000人が避難できるだけの場所はあるのですか。

二つ目は、大野東インターチェンジの道の駅整備についてです。

大野市では、中部縦貫自動車道の開通に合わせ、大野東インターチェンジの近くに、新しく道の駅ができると聞きました。

私は時々、和泉地区の道の駅九頭竜に立ち寄ります。

大きな動く恐竜があったり、いろいろな食べ物や和泉地区で採れた野菜などを売ったりして、見ているだけでとても楽しいです。

福井県内だけでなく、県外からの観光客もたくさん訪れて、とてもにぎやかです。

また、春は新緑、夏はキャンプ、秋は紅葉、冬はスキーと一年を通して楽しめる場所が近くにあります。

新しくできる道の駅も、県外だけでなく外国からもたくさんの方が訪れて、一年を通して楽しめる、大野市の良さをいっぱい知ることができる場所になってほしいです。

そこで、質問します。

新しい道の駅には、道の駅九頭竜の恐竜のような目立つものを作る予定はありますか。

私は、大野は御清水に代表されるように、水がきれいでおいしい所なので、水を利用したもの、例えば噴水を造るといいなと思います。

夏は小さい子の遊び場になるし、夜にライトアップすればきれいです。

新しい道の駅では、どんな物売る予定で

すか。

私は、大野でしか食べられないような、大野ならではのものを売ると良いと思います。

例えば、夏なら半夏生さばを実際に焼きながら売ると良いと思います。

これで質問を終わります。

○議長（白崎愛唯君）

岡本さんの質問について、答弁をお願いします。

（市長 石山志保君 「議長」と呼ぶ）

○議長（白崎愛唯君）

市長、石山さん。

（市長 石山志保君 答弁席へ移動）

○市長（石山志保君）

岡本議員のご質問にお答えします。

まず「避難勧告」についてですが、大野市で起きそうな災害としては、地震、台風、川の洪水、山の土砂災害、大雪などがあります。

それらの災害が発生して、市民の皆さんが被害に遭うかもしれないと思われる場合には、大野市役所の中に市長を本部長として、副市長、消防長、教育長、各部長を集めた災害対策本部を作ります。

そしてみんなで会議をして、今、起こっている災害やこれから起きそうな災害などの情報について話し合い、避難が必要だと判断したときに、市長が避難勧告を出し、早く避難しましょうと知らせることにしています。

先日の西日本を中心とした平成30年7月豪雨では、洪水や土砂災害で各地にたくさんの被害が出ました。

大野市でも赤根川と清滝川の水が増えて、その後も大雨が続くと予想されたため、災害対策本部会議で話し合った結果、洪水が起こる危険が高まったということで、7月5日に赤根川と清滝川の近くにお住いの皆さんに対して、避難勧告を出しました。

また、その2日後の7月7日には、和泉地

区全域で土砂災害が起きる危険が高まったため、和泉地区にお住いの皆さんに対して、避難勧告を出しています。

幸いなことに大野市では、亡くなった方やけがした方はいらっしゃいませんでしたが、今後もこのような豪雨が起こらないとは限りません。

市民の皆さんが早めに安全な場所に避難できるよう、対策本部でしっかり話し合っ、空振りを恐れず、早め早めの避難の情報を出していきたいと考えています。

次に、大野市全体が災害に遭った場合、約3万3,000人の人たちが避難できるだけの場所はあるのですかについて、いろいろな災害のうち、大野市全体が被害を受ける災害は大地震であると考えています。

大野市民全員が一度に避難できるだけの避難場所は、大野市にはありませんが、大野市では災害対策の計画として大野市地域防災計画を作っており、その計画の中で、考えられる一番大きな地震が起きたとしても、避難が必要になる人数は約4,000人と見込んでいます。

大野市内には、避難所として決めている場所が39カ所あり、全部で約1万人を超える避難者を受け入れられますので、たとえ大野市で大地震が発生したとしても、避難が必要な人のための避難場所は用意ができていますのでご安心ください。

次に「大野東インターチェンジの道の駅整備」についてお答えします。

大野市では、中部縦貫自動車道が全線開通することで、たくさんの方に大野市に来ていただける大きなチャンスと考えています。

そしてこのチャンスに、大野市には自然や歴史、文化など、魅力ある観光地や体験できる所がたくさんあるので、それぞれの情報を訪れた方に分かりやすく伝え、楽しんでもら

おうと計画しています。

併せて大野市には、それぞれの地区にまだ知られていない宝物がたくさんあります。

地区の方々に、その宝物をさらに磨き上げてもらい、多くの方を案内し、一緒に楽しんでもらうことで各地区を盛り上げたいと考えています。

そのため、これらの情報発信の中心となる施設として、新しい道の駅、重点道の駅「(仮称)結の故郷」の整備に取り組んでいるところです。

建設する場所は、大野東インターチェンジができる富田地区の蕨生で、約5万平方メートルの敷地に約5,000平方メートルの建物を予定しています。

施設には、道路案内やトイレなどの休憩施設、大野で採れた農林産物や土産品を売るお店、食事ができるお店などに加え、大野市の観光情報やいろいろな体験メニューなどを紹介する観光案内所などを造る予定です。

また、屋外交流広場や芝生広場などの自由に使えるところも造り、大きな災害が起きたときには、防災の拠点として災害に遭った方の手助けもできるようにしていきます。

岡本議員ご質問の、目立つものをつくるのかについてですが、東海北陸自動車道の岐阜県の白鳥インターチェンジから中部縦貫自動車道の福井北ジャンクションまでの約73キロメートルの間で、道から直接見える道の駅は、この新しい道の駅だけとなります。

そのため、よりたくさんの方に訪れてもらえるよう、どのようなものを造って、どのようにお迎えしたら魅力を感じてもらえるのか、現在、考えているところです。

なお水を利用したものとしては、カヌー体験ができる池を造る予定で、子どもから大人までたくさんの方に楽しんでもらいたいと考えています。

最後に、どのような物を売るのかについてですが、先ほども申し上げましたが、大野の豊かな自然、きれいな水で育った野菜や山菜をはじめ、大野で造られたお酒やおしょうゆ、お菓子など、大野ならではの物を売るよう、関係者の皆さんと話し合いをしているところで、半夏生さばについても併せて考えていきたいと思えます。

新しい道の駅の整備については、魅力ある施設となるよう、市民や関係する皆さんにも協力してもらい、岡本議員が言われたたくさんの方が訪れて、一年を通して楽しめ、大野市の良さをいっぱい知っていただける場所となるよう取り組んでいきます。

(6番 岡本夏実君 「議長」と呼ぶ)

○議長(白崎愛唯君)

岡本さん。

○3番(千味遥人君)

これで質問を終わります。

○議長(白崎愛唯君)

以上で岡本夏実さんの質問を終わります。

岡本さんは、自分の席に戻ってください。

会議の途中ですが、しばらく休憩いたします。

(午後3時13分 休憩)

(午後3時25分 再開)

○副議長(岡本夏実君)

ここからは、私、副議長の下庄小学校6年、岡本夏実が会議を進行いたします。

休憩前に引き続き、会議を開きます。

村松吉郎さんは、質問席へお願いします。

(7番 村松吉郎君 質問席へ移動)

○副議長(岡本夏実君)

次に、7番、和泉小学校5年、村松吉郎さんが質問を行います。

(7番 村松吉郎君 「議長」と呼ぶ)

○副議長(岡本夏実君)

村松さん。

○7番(村松吉郎君)

私は、二つ質問をします。

最初は、通学路の安全対策についてです。

私たち和泉小学校の通学路で、最近、気になるものがあります。

それは今にも崩れそうな倉庫や空き家です。

集団登校の集合場所近くや、道路のすぐ横などにもあります。

家や道路にも近いので、私たち小学生だけでなく、中学生や地域のお年寄りなど、道を歩く人にとってとても危険だと思います。

大きな地震や今年の2月のような大雪があると、ますます危険になってしまうのではないかと心配しています。

また、大野市内では中部縦貫道が整備され、いろいろな所で大きな工事が進んでいます。

和泉地区でも最近工事が増え、大きな工事車両が地区の中を走っています。

私の家の前も、大きいトラックが速いスピードで走って行きます。

その道は通学路でもあり、30^{キロ}制限が掛かっていますが、速いトラックが通るたびに怖い思いがします。

そこで、質問します。

地域の安全確保のために、危険な空き家や倉庫を壊したり、片付けたりできませんか。

速度制限だけでなく、標識を見やすくするなどの安全対策を考えていますか。

二つ目の質問は、和泉地区の活性化についてです。

和泉地区は、山や川などの自然に恵まれたとても良い所なので、私は大人になってもここで生活したいと思えます。

でも、少し困ることがあります。

それは日用品や食料品を買うことができる商店がないことです。

日用品を買うためには、大野市内まで買いに出るしかありません。

中部縦貫道が完成すれば近くなるかもしれませんが、それでも時間もかかるし、とても不便に感じます。

そこで、質問します。

和泉地区の不便さの解消のために、どのようなことを考えていますか。

コンビニやスーパーなどの商業施設を、和泉地区に誘致することはできませんか。

○副議長（岡本夏実君）

村松さんの質問について、答弁をお願いします。

（市長 石山志保君 「議長」と呼ぶ）

○副議長（岡本夏実君）

市長、石山さん。

（市長 石山志保君 答弁席へ移動）

○市長（石山志保君）

村松議員ご質問にお答えします。

まず「通学路の安全対策」についてですが、大野市でも最近子どもが少なくなり、お年寄りが施設に入ったり、亡くなったりした後、その家や倉庫を使う人々もだんだん少なくなってきたので、空き家が増えてきています。

空き家は、正しい管理が行われないと傷みが早くなり、危険を及ぼしたり、見た目が悪くなったり、周りに住む人の生活環境に悪い影響を与えます。

大野市には、現在、500軒以上の空き家があることが平成28年度の調査で分かっており、そのうち68軒は状態が悪い空き家となっています。

空き家には必ず持ち主がいて、持ち主は自分の責任で正しい管理をし、必要がなくなったときには、売る、貸すなどし、最後には住める状態でなくなったときでも、持ち主が壊さなければなりません。

大野市では、越前おおの空家等対策計画を

定め、法律に従って、状態が悪い空き家の持ち主に改善するよう注意しています。

中には、建物の持ち主が亡くなったり、いなくなったりした空き家も数多くあるため、自治会の区長さんや土地の持ち主などにも協力をいただきながら、亡くなった方の子どもさんにも注意をしているところです。

また、今年から状態が悪い空き家を壊すための補助金制度を作り、住めなくなり、周りに悪い影響を与えている空き家を、持ち主が壊すときに支援しています。

このような取り組みを進めながら、これからも計画に従い、持ち主の皆さんにまずは空き家にならないように努めていただく、空き家になってからも正しく管理していただく、住める空き家は次に住む人を探していただく、住めない空き家は壊していただくなど、持ち主の責任により対応するようにしていきたいと考えています。

市民や事業者の皆さんにご協力をいただきながら、空き家が利用されやすくなるよう努力するとともに、状態が悪い空き家がなくなるよう持ち主の皆さまに働き掛けをしていきます。

次に、標識を見やすくするなどの安全対策についてお答えします。

道路標識は、道路交通法と道路法という法律に基づき、交通事故を未然に防ぎ、車や自転車、歩行者などが安全でスムーズに移動できるよう設置されています。

道路標識は、公安委員会、道路の管理者が設置することとなっています。

村松議員ご質問の標識を見やすくするなどの安全対策について、公安委員会の窓口である大野警察署にお伝えしたところ、次のようなお答えをいただきました。

「道路標識は、遠くからでも標識の存在と種類を確認できること、短い時間で標識の内

容を分かってもらえるようにすること、夜でも分かりやすくすることなどに注意して整備をしています。また、道路標識が街路樹で見えづらくなっている場合には、必要に応じて枝木を伐採し、見やすくするという管理を行っています」とのことでした。

大野市でも年に1回、関係者が合同点検を行い、小中学校の通学路の危険な場所を確認し、必要に応じて交通規制の見直しや道路にペイントする区画線の見直しなどを行い、皆さんが安全に通学できるように、通学路の安全確保に努めています。

また、和泉地区で増えているトラックなどの工事用の車については、工事の関係者の方に皆さんのご意見をお伝えし、速度を落とすなど、安全運転に気を付けるようお願いしたいと思います。

これからも児童の皆さんが安全に通学できるように、大野市だけでなく、警察署や公安委員会、地域全体で協力していきますので、皆さんも交通事故に遭わないよう交通安全に十分気を付けてください。

次に「和泉地区の活性化」についてお答えします。

村松議員は、中部縦貫自動車道が完成しても日常生活に不便を感じるだろうとのことですが、やはり中部縦貫自動車道の日も早い全線開通が不便さの解消のために最も重要だと考えています。

中部縦貫自動車道が完成することで、カーブが少なく、事故の起こりにくい、安全で安心な道となります。

時間も、大野市街地まで約40分かかっていたものが、約20分に短縮されることが見込まれています。

さらに中部縦貫自動車道は、完成後も無料で通行できますので、この道路を普段から利用することで、買い物や病院へ通うといった

日ごろの生活が便利になると考えています。

大野市では、中部縦貫自動車道の2022年度末までの全線開通に向けて、国や福井県、大野市議会、市民の方々と力を合わせて精いっぱい取り組んでいます。

次に、コンビニやスーパーなどの誘致についてお答えします。

村松議員のおっしゃるとおり、和泉地区は山や川などの自然に恵まれた良い地域です。

ただ、日用品や食料品などを販売するお店がほとんどなく、多くの方が大野市街地まで買物に来られると聞いています。

このような中、市街地のお店や県民生協が和泉地区で移動販売や宅配サービスを行っておられます。

将来もこうした方々のご努力で、和泉地区の人々が地元で買い物ができるとありがたいと思います。

また、現在、工事を進めている中部縦貫自動車道が開通すれば、市街地のお店までかかる時間も短くなりますので、これまでよりいろいろなことが便利になります。

それに大野市では、商売をしたいという人の相談に乗り、応援をしていますので、和泉地区でお店を開きたいという人が出てくるといいですね。

これからも国や県と一緒にあって、みんなで知恵を絞りながら、和泉地区が住みやすい所であり続けられるように、お互い頑張っていきましょう。

(7番 村松吉郎君 「議長」と呼ぶ)

○副議長(岡本夏実君)

村松さん。

○7番(村松吉郎君)

これで質問を終わります。

○副議長(岡本夏実君)

以上で村松吉郎さんの質問を終わります。

村松さんは、自分の席に戻ってください。

北野奉孝さんは、質問席へお願いします。

(8番 北野奉孝君 質問席へ移動)

○副議長(岡本夏実君)

次に、8番、有終西小学校6年、北野奉孝さんが質問を行います。

(8番 北野奉孝君 「議長」と呼ぶ)

○副議長(岡本夏実君)

北野さん。

○8番(北野奉孝君)

私は、大野市の人口が減ることを止めることについて質問します。

最近、大野市の人口が減ることが問題になっています。

私らが通っている学校の近くでは、空き家や空き地が目立っています。

ということは、大野に住む人が減っているということが考えられます。

実際、大野市の人口の移り変わりを調べてみると、1998年には4万1,856人、これは現在の和泉地区も含めます。

2008年には3万8,535人、2018年には3万3,735人となっていて、ここ10年間に約5,000人も大野から人口が減っているということになります。

このペースでどんどん減っていくと、いずれ市町村を合併したりして、大野市という名前もなくなってしまふかもしれません。

私は、自分が生まれ育った大野市という名前がなくなってしまうとしたら寂しいし、これからも大野市という名前が残ってほしいです。

また、私の学校は6年生以外の学年は1クラスだけで児童数も減っています。

1998年には13クラスで351人いた児童数も、2008年には12クラスで251人、2018年には8クラスで177人と児童数については、20年で約半分にまで減っている状態です。

私は野球をしています、子どもが少なく、

どのチームも学校単位でのチーム編成が難しい状態です。

私が所属している有終は、有終西小学校と乾側小学校の子どもたちでつくられています。

私たち6年生が卒団すると、団員は7人となるため、有終東小学校との合併の話も出ています。

小中学校の編成問題と同様、野球チームの編成も考えていかないといけなくなると思います。

そこで、人口減少をくい止めるためには、私は企業誘致をして、働く場所を増やすと思います。

そこで、質問します。

市は人口を減らさないように、どのような努力をしようと考えていますか。

○副議長(岡本夏実君)

北野さんの質問について、答弁をお願いします。

(市長 石山志保君 「議長」と呼ぶ)

○副議長(岡本夏実君)

市長、石山さん。

(市長 石山志保君 答弁席へ移動)

○市長(石山志保君)

北野議員のご質問にお答えします。

まず、人口を減らさないための努力ですが、有終南小学校の牧野議員のご質問にもお答えしたとおり、大野市では人口減少対策に取り組むため、2015年に大野市人口ビジョンと大野市総合戦略を作りました。

大野市人口ビジョンでは、2019年に3万2,100人、2040年に2万7,000人の人口を保つことを目標として、目標達成のためのいろいろな取り組みを大野市総合戦略に基づいて行っています。

議員ご質問の中で、児童の数が減っているとのことでしたが、大野市では若い世代の皆さんが結婚したり、子どもを産んだり、大野

で子育てをすることに對して応援することで、希望を持ち、安心して生活できるまちの実現を目指しています。

また、大野市では中部縦貫自動車道の全線開通に向けて取り組んでいます、それに合わせて道の駅を建設する予定です。

遠くの大都市などと短時間でつながる新しい道路の開通をきっかけに、多くの観光客に大野市を訪れ、大野の魅力を知ってもらったり、楽しんでもらったりすることが、道の駅の役割です。

また、議員がおっしゃるとおり、人口減少をくい止めるためには、企業誘致を行い、働ける場所を増やすことも大切な方法の一つです。

現在、富田地区で大野市産業団地の整備を進めています。

この新しい産業団地の近くを通る中部縦貫自動車道が開通すると、名古屋市などの大きな都市と短い時間で行き来できるようになり、物や人の流れが大きく変わることが予測されます。

大野市では、この絶好の機会に、新しい産業団地への企業誘致を進めていきます。

また、若者や女性に人気の高いIT関連企業への誘致活動を行っていきます。

このIT関連企業というのは、ゲームやホームページを作ったり、インターネットのサービスを提供したりする仕事をしている会社で、インターネットなどを使うことで、都会で行っている仕事が大野市でもできるようになります。

現在、東京に本社があるIT企業と大野市の間で、市内に事務所を開く計画を進めていて、これが実現すれば、これまで大野市ではできなかった仕事ができることになり、一度、都会に出て行った人たちが大野市に戻って来るとも期待されます。

これからもいろいろな企業への誘致活動を行い、働く場所をつくっていきたくと考えています。

このように大野市では努力を続けていますが、残念ながら人口減少を止めることはできていません。

しかし、これからも皆さんが自信と誇りに思う大野市を未来に残していけるよう、皆さんと一緒に考えながら取り組んでいきたいと考えています。

(8番 北野奉孝君 「議長」と呼ぶ)

○副議長 (岡本夏実君)

北野さん。

○8番 (北野奉孝君)

これで質問を終わります。

○副議長 (岡本夏実君)

以上で北野奉孝さんの質問を終わります。

北野さんは、自分の席に戻ってください。

野岸さくらさんは、質問席へお願いします。

(9番 野岸さくら君 質問席へ移動)

○副議長 (岡本夏実君)

次に、9番、富田小学校6年、野岸さくらさんが質問を行います。

(9番 野岸さくら君 「議長」と呼ぶ)

○副議長 (岡本夏実君)

野岸さん。

○9番 (野岸さくら君)

私は、二つ質問をします。

最初は、大野の名水のPRについてです。

大野の良いところは、水がおいしく、きれいなことだと思います。

私は旅行に行って、いろいろな所で水を飲みますが、やっぱり大野の水はおいしいと感じます。

大野の名水をPRするために、みずのめぐみんというキャラクターが作られたのは、とても良いことだと思います。

でも、もっと日本全国の人に大野の水のこ

とを知ってもらいたいと思います。

ここで質問です。

大野の名水をPRする取り組みとして、ほかに何かしていますか。

また今後、何かする予定はありますか。

二つ目の質問は、大野の名水を守る取り組みについてです。

私は、大野の地下水が昔と比べて減っていると聞いています。

この後、だんだん減っていくと思うと心配です。

ここで質問です。

地下水を守る取り組みを、市として何か行っていますか。

これで質問を終わります。

○副議長（岡本夏実君）

野岸さんの質問について、答弁をお願いします。

（市長 石山志保君 「議長」と呼ぶ）

○副議長（岡本夏実君）

市長、石山さん。

（市長 石山志保君 答弁席へ移動）

○市長（石山志保君）

野岸議員のご質問にお答えします。

みずのめぐみんは、水の妖精で、大野市の水の恵みをPRするために生まれました。

これからは、大野市のホームページなどで、大野の水の案内人として、もっとPRに活躍してもらおうと考えています。

まず「大野の名水のPR」についてお答えします。

大野市では、名水百選の御清水や本願清水などの情報をホームページなどで発信し、越前大野名水マラソンなどのイベントで、市外の方に名水を振る舞うなど、いろいろな形で全国に向けて大野の名水のPRをしています。

また、大野の名水を鍵に大野市を元気にするため、水への恩返しという事業を実施して、

いろいろなPR活動をしています。

一つ目が、水の研究を通じたPRです。

大野市は、今では名水のまちとして有名ですが、過去には地下水が減り、家の蛇口から水が出なくなった地区がありました。

大野市は、この危機をみんなで乗り越えた歴史があります。

そして地下水を大切にし、いろいろな調査をしてきたため、大学などが大野市で研究したいと考えるようになりました。

大野市は、これまでいろいろな所で大野の水について発表をしてPRしていますが、多くの大学にも大野の水を研究してもらい、それを発表してPRしてもらっています。

二つ目が、水に困っている人を助けることでのPRです。

大野市は水に恵まれています。世界に目を向けると水に困っている場所は多く、水くみをするために学校に行けない子どもも世界にはたくさんいます。

大野市では、市民の皆さんからの寄付や募金を基に、アジアで最も安全な水の確保に困っている東ティモールという国に水道施設の建設を助けています。

この取り組みを全国の人に知ってもらい、名水のまちをPRしています。

三つ目が、食べ物を通じたPRです。

水は、全ての食べ物に関係します。

名水の恵みを受けることで、水まんじゅうやでっち羊かんのようなお菓子や、しょうゆ、みそ、お酒、酢などの発酵食品、またコメやソバ、サトイモといった農作物も全ておいしいとPRしています。

そのほかにも、新聞や雑誌に取材してもらったり、新聞に広告を出したりして大野の水についてPRしています。

これからも市民の皆さんと一緒に、大野の名水をPRすることで、大野のことをより多

くの人に知っていただけるように努めていきます。

次に「大野の名水を守る取り組み」についてお答えします。

今から約45年前、昭和40年代後半から昭和50年代にかけて、地下水位が下がる冬場を中心に、大野の町の家蛇口から水が出なくなる井戸枯れが発生しました。

これは、工場で使う水や、道路や各家庭での雪を溶かすための、水のくみ上げ過ぎなどが原因でした。

そこで、大野市では地下水のくみ上げ過ぎを防ぐために、新しく井戸を掘って地下水をくみ上げる場合に、事前に届け出をしてもらうことや、たくさん地下水を使う工場などに使った量を報告してもらうこと、雪を溶かすために地下水を使わないことをお願いするとともに、地下水の水位を毎日調べること、地下水の水質に問題がないかを定期的に調べることなど、地下水を守るための仕組みを作りました。

また、冬の間に田んぼに水を張り、田んぼから地面に水を染み込ませて地下水を増やしたり、森林を手入れしたりして、水が多く染み込む取り組みもしています。

そのほかにも、目に見えない地下水の仕組みを知るために、地下水の量や流れを調べています。

市民の皆さんは、湧き水の場所をきれいに掃除したり、家で水を無駄遣いしないようにしたり心掛けています。

地下水を守るには、市民の皆さんが地下水を大切にする気持ちが大切だと考えています。

そこで、水が大切であることを知ってもらうために、市内の小学校へ大野市の職員が行って、水の本を使って授業を行っています。

普段、地下水を普通に飲めるのも、これまで守り続けてきた人々のおかげです。

安全でおいしい水が飲める環境に感謝の気持ちを持っていただきたいと思います。

今後も大野市は、市民の皆さんと一緒に水を守り、上手に使う将来の人々にも引き継いでまいります。

(9番 野岸さくら君 「議長」と呼ぶ)

○副議長 (岡本夏実君)

野岸さん。

○9番 (野岸さくら君)

これで私の質問を終わります。

○副議長 (岡本夏実君)

以上で野岸さくらさんの質問を終わります。

野岸さんは、自分の席に戻ってください。

高村このみさんは、質問席へお願いします。

(10番 高村このみ君 質問席へ移動)

○副議長 (岡本夏実君)

次に、10番、乾側小学校6年、高村このみさんが質問を行います。

(10番 高村このみ君 「議長」と呼ぶ)

○副議長 (岡本夏実君)

高村さん。

○10番 (高村このみ君)

私は、外来種への対策について質問します。

大野市は、山に囲まれていて緑が多く、自然が豊かだと思います。

その中には、たくさん生き物がいます。

去年、総合の学習で、乾側地区を流れる日詰川の支流で生き物調査をしました。

調べた生き物の中には、ドジョウなどの絶滅危惧種に当たる在来種がいました。

そして小魚や魚の卵、水草を食べるブルーギルなどの外来種もいました。

そこで、質問します。

昔と変わらない大野の自然を、外来種から守る取り組みをしていますか。

しているのであれば、どのような取り組みをしているのか教えてください。

していないのであれば、なぜしないのです

か。

した方が自然を守るために良いと思います。

○副議長（岡本夏実君）

高村さんの質問について、答弁をお願いします。

（市長 石山志保君 「議長」と呼ぶ）

○副議長（岡本夏実君）

市長、石山さん。

（市長 石山志保君 答弁席へ移動）

○市長（石山志保君）

高村議員のご質問にお答えします。

「外来種への対策」についてですが、外来種とは、もともとその地域に居なかったのに、人によって持ち込まれた動物や植物のことをいいます。

持ち込まれた外来種によって、もともと居た在来種が生まれ育つ環境が奪われてしまうことがあります。

大野市では豊かな自然環境の中で、さまざまな動物や植物が見られますが、福井県が2016年に出した福井県の絶滅の恐れのある野生動植物によりますと、福井県内で絶滅の恐れのある種の数はここ10年でおよそ1.5倍に増えています。

また、環境省が2018年に出した絶滅の恐れのある野生生物の種のリストによりますと、ドジョウが準絶滅危惧種となりました。

大野市ではホームページで、ブラックバスやブルーギル、ザリガニなどの外来種を川へ流すことが禁止されていることや、外来種の植物であるセイタカアワダチソウの駆除への協力について呼び掛けています。

大野市内の農家に対しては、農地の草刈りなどの保全活動を行う中で、外来種を見つけた場合は駆除するようにお願いしています。

今後は、各地区が草刈りやごみ拾い、川の泥上げなどの環境美化活動を行ったときにも、外来種を見つけた場合は、駆除してもらうよ

うにお願いしていきたいと考えています。

また、本願清水での取り組みを申し上げますと、本願清水は日本でも数カ所しかない陸封型イトヨ生息地の最も南に位置しており、世界的にも貴重な湧水池として昭和9年に国の天然記念物に指定されています。

本願清水にあるイトヨの里では、イトヨを地域固有の貴重な財産と考え、生涯学習や環境教育の場とするとともに、イトヨの保護育成を行っていますが、本願清水にも外来種のコクチバスという肉食の魚が時々入り込んで、イトヨを食べてしまうことがあります。

そのため、本願清水の近くにお住まいの皆さんや漁業協同組合の方などのご協力をいただき、年に数回、外来種であるコクチバスなどの駆除を行っています。

高村議員が、学校の総合的な学習の時間で川の生き物を調査され、大野の自然の豊かさを実感し、外来種への対策に関心を持たれたことはとても良いことです。

そして高村議員が感じられたような地域の豊かな自然を守っていききたいという気持ちが、大野市全体で高まることが大切であると考えています。

大野市では、これからも豊かな自然環境を守るために、在来種の保護や外来種への対策に取り組んでいきます。

（10番 高村このみ君 「議長」と呼ぶ）

○副議長（岡本夏実君）

高村さん。

○10番（高村このみ君）

これで質問を終わります。

○副議長（岡本夏実君）

以上で高村このみさんの質問を終わります。

高村さんは、自分の席に戻ってください。

白崎愛唯さんは、質問席へお願いします。

（1番 白崎愛唯君 質問席へ移動）

○副議長（岡本夏実君）

次に、1番、上庄小学校6年、白崎愛唯さんが質問を行います。

(1番 白崎愛唯君 「議長」と呼ぶ)

○副議長(岡本夏実君)

白崎さん。

○1番(白崎愛唯君)

私は、二つの質問をします。

一つ目は、大野市のマスコットキャラクターについてです。

大野市には、いろんなマスコットキャラクターがいます。

私が知っているマスコットキャラクターは、市のキャラクター、うぐピー、うめピー、ゆいピー、かめじろう、みずのめぐみん、でかでっくん、上庄地区の麻那姫のキャラクター、まなちゃんです。

キャラクターがたくさんいると、いいことがたくさんあります。

例えば、うぐピー、うめピー、ゆいピーは、大野市の鳥ウグイスをモチーフにしたキャラクターなので、ウグイスをアピールできます。

このようにキャラクターを通して大野の有名なものをアピールできます。

私は、いろんなキャラクターを知っていますが、大野市民の中には知らない人もまだまだ居ると思います。

なので、もっともっとアピールして行ってほしいです。

そこで、質問します。

簡単に楽しくマスコットキャラクターに親しめるよう、そして楽しく大野について知れるよう、絵描き歌を作るといいと思うのですが、そのような活動を市ではどのように行っていますか。

二つ目は、マスコットを活用したイベントの開催です。

今、おおの城まつりでは、いろんなステージイベントが開催されています。

しかし、そのステージイベントにマスコットキャラクターが出演しているのを見たことがありません。

せっかく居る大野特有のキャラクターなのに、大野市の大会イベントに出演しないのはもったいないと思います。

そこで、提案します。

例えば、おおの城まつりのステージイベントとして、大野市中のマスコットを集めてゲーム大会を開催するというのはいかがでしょうか。

マスコットキャラクターが参戦するゲーム大会には、見ている子どもも、大人も、お年寄りも参戦できるようにすれば、みんなが楽しめるいいイベントになると思います。

次に質問ですが、おおの城まつりのイベントの中でマスコットキャラクターが参加しているイベント、又は参加を予定しているイベントは何かありますか。

これで質問を終わります。

○副議長(岡本夏実君)

白崎さんの質問について、答弁をお願いします。

(市長 石山志保君 「議長」と呼ぶ)

○副議長(岡本夏実君)

市長、石山さん。

(市長 石山志保君 答弁席へ移動)

○市長(石山志保君)

白崎議員のご質問にお答えします。

まず大野市のマスコットキャラクターをアピールするためにどのような活動を行っていますかについてお答えします。

大野市が関係するマスコットキャラクターには、大野市の鳥であるウグイスをモデルにしたうぐピー、うめピー、その子どものゆいピーや、亀山に立つ越前大野城がモデルで、うぐピー、うめピーに飼われているペットのかめじろう、大野市が進める湧水保全の取り

組み、水への恩返しキャリングウォータープロジェクトのキャラクター、みずのめぐみんなどがあります。

大野市では、これらのキャラクターを通して市の事業や行事に親しみを持ってもらおうと、いろいろなポスターやチラシ、パンフレット、封筒などに載せています。

中でも、うぐピー、うめピー、ゆいピーについては着ぐるみを作って、越前おおの城まつりや新緑まつりなどの会場内を楽しい雰囲気にしようと活用しています。

また、みずのめぐみんにつきましては、折り紙で親しんでもらえるよう、折り方が書かれた折り紙を配布しているほか、折り方をホームページなどでも紹介しています。

そのほかには、越前おおのふるさと味物語実行委員会のキャラクターで、冬の味覚でっち羊かんをモデルにしたでかでっちくんや、青年会議所が全国から募集した大野市の魚イトヨをモデルにしたキャラクター、いとよのシンちゃん、総合型地域スポーツクラブみんスポクラブのキャラクター、運動週一くん、越前大野感性はがき展のキャラクター、かんとくんなどが事業のPRなどで活用されています。

マスコットキャラクターを通して、大野市のことをより多くの方に知ってもらえることは、大野市にとってとても有意義なことと考えますので、絵描き歌を含めてさまざまな方法で取り組んでいきたいと思いをします。

次に「マスコットを活用したイベントの開催」についてお答えします。

越前おおの城まつりは、今年で51回目を数える大野市の夏の一大イベントで、今年は8月12日から16日まで開催され、多くの方に会場していただきました。

例年、越前おおの城まつりは12日、15日、16日の越前おおのおどり、13日の大花火大会、

14日の結の故郷小学生ふるさと芸能発表会、結の故郷中学生みこしダンスパフォーマンスが主な行事で、ステージイベントは少ない状況となっています。

ご質問のありましたマスコットキャラクターのステージイベントにつきましては、これまで市制記念など特別なイベントがあるときに、うぐピーなど着ぐるみがあるキャラクターを活用しています。

マスコットキャラクターが参加している城まつりのイベントとしましては、多くの方が来場される15日、16日の越前おおのおどりで、うぐピー、うめピー、ゆいピーが会場内を歩いたり、踊りの輪に加わったりして踊りを盛り上げています。

マスコットキャラクターを集めたステージイベントにつきましては、まずはイベントに参加できるキャラクターを調べるとともに、子どもが参加しやすいか、どのようなイベントが良いかなどを考えていきたいと思いをします。

そのほか、キャラクターを活用した事業としましては、4月に南六呂師にオープンした人工ゲレンデで、うぐピーがスキーで滑走するなど、スキー場のPRを行いました。

また、大野市と関係のある市や町でのお祭りイベントなどにマスコットキャラクターが参加し、大野市のPRを行っています。

これからも城まつりをはじめ、大野市のそのほかの行事において、マスコットキャラクターを活用したイベントなどができないか、考えていきたいと思いをします。

(1番 白崎愛唯君 「議長」と呼ぶ)

○副議長(岡本夏実君)

白崎さん。

○1番(白崎愛唯君)

これで私の質問を終わります。

○副議長(岡本夏実君)

以上で白崎愛唯さんの質問を終わります。

白崎さんは、自分の席に戻ってください。
以上で子ども議員質問を終わります。

日程第6、大野市議会議長より講評をいただきます。

(議長 山崎利昭君 「議長」と呼ぶ)

○副議長(岡本夏実君)

大野市議会議長、山崎利昭さん。

(大野市議会議長 山崎利昭君 登壇)

○議長(山崎利昭君)

山崎でございます。

市議会を代表して、講評をいたします。

本日はオブザーバーという立場で、それぞれの
大野市議会議員が皆さんの質問、そして市長からの
答弁をお聞かせをいただきました。

皆さんは、本当によく勉強されておられました。

落ち着いて、しっかりとした質問が行われ、
驚かされているところでございます。

われわれ大人には思い付かないような、小学生
ならでの質問も多く、私自身も原点に戻ったような
気がして、気を引き締められる思いがしております。

本日、皆さんがこの議場で味わった緊張感
は、日ごろ経験できるものではなく、一生の思い出に
残る貴重な体験であると思います。

ご存じだと思いますが、市議会議員などの
選挙は、18歳以上の方々が投票をできます。

皆さんもあと6年程度で選挙権を得られ、
投票所に行き、投票することになります。

そして今日は、女性の石山市長が皆さんの
質問にお答えをいただきました。

また、ここには女性の子供議員が多くお
られます。

今日のこの経験を通じて、性別にかかわらず、
ぜひ議会や政治に興味を持っていただくとともに、
これからの学校での勉強にも生かして
いただきたいと思います。

また皆さんが大野市、そして地域を愛する

気持ちが皆さんの質問からたくさん伝わって
まいりました。

この気持ちを忘れずに、将来もずっとこの
結の故郷越前大野に住み続けていただきたい
と考えております。

「明倫の心を重んじ、育てよう、大野人」

私たち大野市議会も、皆さんが大野で結婚
をされ、子どもを産み育て、ずっと暮らした
いと思えるまちであり続けられますよう、
その実現を目指して全力で頑張ります。

本日は、私も貴重な体験をさせていただきました。

本当にありがとうございました。

以上で私の講評といたします。

本日は、大変お疲れさまでございました。

○副議長(岡本夏実君)

以上で日程が全て終了しました。

これもちまして、平成30年8月第4回大
野市子ども議会を閉会します。

お疲れさまでした。

(午後4時15分 閉会)

上記会議のてん末を証するためここに
署名する。

議長

.....
.....

副議長

.....
.....

署名議員

署名議員

子ども議員感想文

議席番号 1 上庄小学校 6年 白崎愛唯

私は、子ども議会に出て、質問、提案だけでなく、議長になって進行もさせてもらいました。

初めは、うまくできるかなあとか心配していたけど、リハーサルのときに大野市議会の議長、山崎さんたちにおじぎをするタイミングとかを教えていただいて、本番、失敗せずにできました。

当日は、市長の石山さんをはじめとするたくさんの方が議場に座っていたので、入ったしゅんかんとでもおどろきました。

議場はとても静かで、落ち着いたふんいきでした。

私は、進行のときにうまく言えないことが何回かあったけど、落ちついて一言一言をていねいに話せました。

質問、提案もはきはきと言えました。

私が疑問に思ったこと、市でやってほしいことなどに市長の石山さんが私にも分かりやすく、ていねいに答弁してくださったのでうれしかったです。

私は実際に議員さんが議会をしているのは見たことがなかったので「こんな感じなんだなあ」と思い、感心しました。

議長としても、質問者としてもがんばれました。

私は、子ども議会に参加して、いろんなことを学ぶことができました。

議会に参加していなかったら知れなかったことも知れました。

とても良い、貴重な体験をさせてもらったと思います。

いろんなことを学べる良いイベントだと思いました。

子ども議員を体験できてよかったです。

議席番号 2 有終東小学校 6年 松田 花

私は、子ども議会で大野市のことについてしんけんに考えて質問をしたり、答えてもらったりするのがいい経験になったなと思います。

また、石山市長に質問をするのは、とてもきん張したけど、石山市長や市会議員の方々に質問をする機会はないので、自分の質問、意見を言えてよかったです。

質問をする前と後のお礼も練習どおりにきちんとできて、堂々と話すことができました。

私が出した質問、提案にたくさんのえらい人が一生懸命考えてくれて、石山市長も精いっぱい答えてくれてうれしかったです。

この子ども議会で、大野市の問題やこれからの大野市の課題を発見できたので、私たちができることをして、大野市をより良い市にして、みんなの大好きな大野市にしていきたいです。

また、私の生まれ育った大好きなふるさと「大野市」をたくさんの人に知ってもらって、み力のある大野市にしていくため、大野のよいところをたくさん伝えたいです。

議席番号 3 小山小学校 6年 千味 遥人

ぼくは、子ども議会に小山小学校の代表として参加しました。

市内の学校からぼくと同じように代表が集まって来て、みんなで会議をしました。

ぼくは、学級のみみんなで考えた公園を大きくすることと、元気国体・元気大会のことを質問する予定でした。

ブザーが鳴り、議会が始まりました。

きんちょうが高まってきました。

ぼくは、2番の発表でした。

心臓が飛び出てきそうでした。

いよいよぼくの番になりました。

しっかり礼をして質問をしました。

質問を終え席に着くと、市長さんがぼくの質問にていねいに分かりやすく答えてくれました。

無事議会も終わり、自分が言いたいことはしっかり言えてよかつ

たです。

このような貴重な経験は、一生のうちでなかなかできないことなので経験できてよかったです。

議席番号 4 有終南小学校 6年 牧野 芙南

私が子ども議会に出ようと思ったわけは、楽しそうだからというものもありますが、やってみたいからというものもありました。

そして、やれることになり、どんな質問にしようかなあと考えて、まず思ったのは、大野はやっぱり人口が少ないなあということです。なので、人口を増やすためのことを言おうと思いました。

観光客も少ないなあ、増えたら人口も増えるかなあとか考えて、PRをしたら観光客が増えるかなあと、観光客を増やすことも考えるようになりました。

なので私の質問は、観光客を増やすことについてと、人口を増やすことについての質問にしました。

そして、本番、考えた質問を言って市長の答弁を聞きました。

そして市長の答弁を聞いたら、もう残り時間わずか、いろいろ再質問を考えてきましたが、ほんのわずかししか言えませんでした。

なので、本番前は13分もあってよゆうに再質問できるなあと思っていたけれど、もう13分が終わってからは、30分くらいほしかつたなあと思いました。

もしくは、答弁の時間がべつだったらなあと思いました。

議会が終わって思ったことは、最初で最後のいい経験になったということです。

大野のためにいろいろ考えて、しかも議会に出ることは今回で終わりだけど、とっても楽しかったです。

議席番号 5 阪谷小学校 6年 高田 秀洋

ぼくは、議会を体験してみて、ふだん議員さんはどのように議会

を行っているのかが分かりました。

子ども議会は、ふだんの議会と同じことをしました。

議場に入るときは、目の前にある国旗に礼をすることが分かりました。

自分の質問をするときは、とてもきんちょうしました。

なぜかというと、目の前に多くの議員さんがいるからです。

質問席に移動するときは、国旗と議長さん、議員さんに礼をしないといけないことも分かりました。

そして、ぼくは市長さんに大野市の財政について、大野市の町おこしについて質問をしました。

と中、かんでしまったときもあったけど、二つの質問をしっかりと市長さんに聞けました。

ぼくは、他の人の質問で気になったのは、和泉小学校代表の村松吉郎さんの質問で、通学路の安全対策についてです。

通学路は、ぼくらが通る場所だし、ぼくらにも直接関係があることなので気になったし、いい質問だなと思いました。

ふだんは体験できないことができてよかったです。

議席番号 6 下庄小学校 6年 岡本夏実

私は子ども議員を体験して、今まで知らなかったことがたくさんわかりました。

例えば、議場に入るとき必ず国旗に礼をしなければいけないこと。

議席番号はくじで決め、4年間同じ席ということなど、たくさんの礼儀があることを初めて知りました。

私は副議長になったので、後半の司会をしました。

きん張して早口になってしまわないか不安だったけど、おちついて早口になりすぎず司会ができました。

そして、私が質問したことに対して、市長さんはとてもていねいに答えてくれたので分かりやすかったし、うれしかったです。

他校の子が学校再へん問題について聞いていたり、私が少し気になった問題も聞いてくれたりしていたので、なっとくできました。

私たちが発言したことが少しでも大野をよくする力になってくれるとうれしいです。

ふだんかんたんには入れない場所や、ふだんできないき重な体験ができたのでよかったです。

市役所の方などいろいろな方がやさしく接してくれて、ガチガチにきんちょうしていた体がほぐれたほどでした。

「子ども議会」は選挙に投票できなくて意見が言えない子どものためにも、これからもずっとあり続けてほしいです。

き重な体験させていただき、本当にありがとうございました。

議席番号 7 和泉小学校 5年 村松吉郎

子ども議員として和泉地区や大野市のことを考えながら、議員という仕事がとても大切な仕事だということがわかりました。

練習のときは、「うまく質問できるかな」と不安な気持ちでした。

本番になり、質問の順番が来たときはとても緊張しましたが、落ち着いてリハーサルどおりに行動することで、石山市長にしっかりと和泉小学校の質問をすることができました。

石山市長のお話や他の学校の質問を聞きながら、大野市のいろんな問題に気づくことができました。

そして、みんなが大野市をよくしようという気持ちだということがわかり、うれしかったです。

本番ではとても緊張しましたが、子ども議員という貴重でとてもいい経験ができました。

これからも和泉地区だけでなく、大野市のことを考えていきたいと思えます。

このような機会をいただき、とても感謝しています。

ありがとうございました。

議席番号 8 有終西小学校 6年 北野奉孝

ぼくは、子ども議会に行きました。

まず本番の20日の説明会がありました。

そこでは、本番の日程や発表順を決めました。

発表は7番目で仕事は特に当たらなかったのも、質問をがんばろうと思いました。

そして20日の当日は、まず日程の最終確認がありました。

次に議場に入りました。

中にはすでに議員の人たちや市長さんまでいらっしやっていたので、入るときとても緊張しましたが、ふつう入れない所なので、とてもわくわくしました。

そして、質問の時間が来ました。

名前を呼ばれたときはとても緊張しましたが、市長さんに大野市の人口を減らさないようにするために何をしているか聞けました。

市長さんはそれをとめるための団体をつくり、人口が減らないよう努力することなので安心しました。

これからも大野という名前が残ってほしいです。

議席番号 9 富田小学校 6年 野岸さくら

実際に議場に立ってみて、とても緊張しました。

気になっていることを実際に石山市長に質問できて、よい体験ができたと思います。

私は、大野の名水のPRについてや、大野の名水を守るための取り組みについて質問しました。

子ども議会を体験することによって、今の大野市の状況や、している取り組みについて、これからどうしていこうかという考えなどを知ることができました。

あらためて、自分も大野市のためにできる取り組みは何があるかを考え、大野市をよくしていきたいと思うことができました。

そして、これから自分も取り組みに参加したり、家庭でもできることをやりたいと思います。

例えば、家庭からの水のごみを少なくするや、水のムダ使いはせず、せつやくすることです。

これから私だけでなく、家族で気を付けていきたいと思います。

市では定期的に調べたり、森林の手入れ、そうじをしているようで、やはり環境をきれいに保つことが大切だと知りました。水だけでなく、周りの環境をきれいに保つことにも取り組んでいきたいと思います。

他の議員の質問や質問に対する答弁を聞き、さまざまなことを学ぶことができました。

また、こんなふう話し合って大野のまちづくりがされていることを知りました。

今回、子ども議会を体験し、大野市を守り、良くしていく側になってみて、大変さも少し分かりました。

これから大野市のためにできる取り組みを精いっぱいやっていきたいです。

議席番号 10 乾側小学校 6年 高村このみ

今日は本番でした。

議場にはりハーサルするときにも入って質問を言ったのですが、本番に入ったときもきんちょうしました。

でもきんちょうしたのは、教育理念の首唱をしたときだけでした。

他の人の質問と答弁を聞いてメモをしていたので、いそがしかったです。

自分の質問のときには、お礼や言葉や座るタイミングもまちがえずにできたと思います。

自分が疑問に思っていたことに対して、石山市長さんがとても分かりやすく、ていねいに話してくださったので、よく市の考えが分

かりました。

私は、とてもつかれました。

でも議長や副議長は、もっとつかれたと思うけど、楽しかったと思いました。

もし、もう一度出られるなら議長か副議長になってみたいです。

結ゆいのく郷にの 越前おおの